京城日報

定價 一部金參錢 一箇月金七十五錢 … 廣告料 … 發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通二丁目 合資會社京城日報社 [illegible]

三月三日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇賠償は償金以外
天產品製產品にも及ぼさん

賠償は單に償金に止まらず獨逸の天產品及び製產品に及ぼさんとする聯合國の計畫は聯合國こしては最も當を得たるものにて大いに之を歡迎せるが償金に對しては英國は五箇年々賦佛國は三箇年々賦說を唱へ居れるが賠償を完全に遂行せしむる爲め聯合國より獨逸財產管理委員を設置する必要あるべしと(倫敦電報)

◇新休戰條約意見
休戰條約に關し目下聯合國間に研究中なる重要問題は獨逸に對し新休戰條約を協定する場合には單に軍事上の條件に止まり將來講和條約締結に際しては政治的領土的並に財政的見地に基づき新條件を議定するを至當とすとの議に對し列國委員の多くは右は相互關聯せるものにして分離すべからず政治的領土的條項は軍事的條項と共に速に獨逸をして承認せしめざるべからずとの意見を有するものなるが右に對し有力なる反對說現はれ結局若し聯合國にして近き將來に於て對獨講和豫備條件を作製する運びとならば直ちに之を實施すること、し然らずんば既に決定せる軍事的條件のみを定め其他は徐に豫備講和條件として立案を試むること、なるべし(巴里電報)

◇英ルアンダ統治引受か
濠洲首相敵國群島併合要求

英國政府は獨逸領東阿弗利加に於てルアンダの委任統治を引受くべく尚太平洋島嶼に關する意見の相違が間も無く除去さる可きは殆んど確實なり又濠洲首相ヒユース氏は太平洋の敵國群島を悉く直接併合せん事を要求せりと(巴里電報)

◇アドリヤチツク海問題紛糾
倫敦クロニクル巴里特派員の所報に依ればアドリヤチツク海問題は愈紛糾を重ぬるのみにて一般に重大なる懸念を生ぜしむるに至れり蓋しアドリヤチツク海問題を仲裁々判に附せんとの提議は前途に多大の希望を屬せしめ居たるも這は一時的現象に過ぎず伊太利は依然英佛との秘密條約履行を主張し是に對してユーゴースラヴ族は海洋への出口としてトリエスト、ゴリチヤの領有を主張し互に讓らざるを以て問題の解決は殆んど絶望となれり(倫敦電報)

◆聖上皇后兩陛下御下賜の御榊(上) 各宮家御贈進の御榊(下)

◇露問題解決形勢
媾和會議の一般的感情は今や露國の四邊を形成せる諸獨立國を鞏固ならしめ以て露國問題を解決せんとするに傾きつゝあり(巴里電報)

◇除隊兵恩給可決
佛國下院は去る二十七日滿場一致を以て各除隊兵に對し二百五十法、宛の恩給を下附するの案を可決せるが尚ほ同院は實戰に參加したるものに對しては二十法、單に動員召集を受けたるものに對しては十法を加俸する件を可決せり(巴里電報)

◇援軍輸送と元帥
フオツシユ元帥は七名より成れる常設委員會議に於て目下ハラ將軍の下に佛國に在る波蘭第二師團を援軍として波蘭に輸送せんとするの件に關して演說を試み波蘭に於ける過激派及び獨逸に對する抵抗を持續せしめんには軍需品を交附するに在り波蘭に於ける財政及び經濟上の二件に就ても又討議されつゝありと述べたり(巴里電報)

◇レニン政府の豫算
千九百十八年に於けるレニン政府の豫算は支出四百九十億留にて内支出中常費九十五億經常費七十七億臨時費十七億なり而收入中經常部は僅に七億留に過ぎず殘餘の百億留は有產階級に對する一時的強制徴收に依るものなり(哈爾賓電報)

◇和平會議進行か
廿八日南方總代表唐紹儀氏は四十八時間を限る一種の最後通牒を發し次いで北方代表の辭職となりたるが這は和議破裂と云ふに非ず寧ろ革命後の會議の如く多少の曲折あらんも再び會議の進行を見る可しと觀測さる(上海電報)

◇亞細亞學生會
亞細亞學生會發會式は二日午後一時より築地精養軒にて開會日本學生、印度、比律賓、暹羅、朝鮮、支那の留學生等合計八百名出席し國民黨代議士明治、立教大學講師植原悦二郎氏並に木下明治大學校長の祝辭あり散會せり(東京特電)

◇砂鐵精錬業 從業者救濟
中國砂鐵精錬業者は過般鳥取縣米子町に於て同業者大會を開き委員を上京せしめ製鐵業法に關して運動中なるが右に就き聞く所に依れば鐵價暴落の結果同業者の悲境は今や其極點に達し二十萬の從業者は將に職を失はんとし生活上の脅威を感ぜんとしつゝあり社會政策上忽諸に附すべからざる問題にして今日に於て適當の方法を講ぜざれば遂に彼等從業者は救ふべからざる窮境に陷らんとしつゝあるが爲めなりと(東京特電)

○朝鮮通信事業の瞥見
影山監察官談

入京中の遞信省勅任監察官影山鋭三郎氏の談に曰く

朝鮮通信事業の現況に就ては過般に隨從し遞信局に赴き持地長官初め各課長より概略を承聞したるがその

▲遂年の施設 各般の行政の進步と相並行し頗る急激なるものある如し然るその將來を見れば尚ほ施すべき多くのものの存在するを否認し難く一層當局の努力を必要とするならん例せば郵便所の如き內地は七千五百人に對し一局を有するに朝鮮は尚ほ四萬人に就て一局所なりと云へば鮮の通信機關を略內地同樣の率に進めんとするには現數の四倍を必要とする譯なり內鮮兩地の比較は姑く措くとするも之れを熊本に二萬二千人に一局を有するに較ぶるも

▲朝鮮の局所數 は大いに增設の必要あるならん乎又その通信利用力增加は素より今後に俟たざるべからずと思惟せらる、も朝鮮の人口一千五百萬人として其の通信收入年額五百萬圓に過ぎざるは之れ又將來の進むべき餘地の極めて多大なるを聞る、乃ち熊本の遞信局の所管する九州の人口は八百八十萬人內外にて朝鮮の約六割に過ぎざるも通信事業費支出收入並に現業狀態は遞信省所轄地の

▲約一割五分 を占め收入亦一千四百五十萬圓を計上し朝鮮の約三倍に達し居れり

◆大榊(右)と勳章捧持(左)

◇巴威共和國建設
エベルト、シャイデマン無勢力

チユリツヒ來電巴威にては勞兵會の中心共和國建設せられシモン氏大統領に擧げられたる旨聲明せり同共和國政府は國內の秩序恢復せられ獨逸の安寧は巴威に依りて保持せらるべきことを主張せり而してエベルト氏及びシャイデマン氏は最早何等勢力を有せず又普魯西人には共和國成立に關し干涉を許さずと(倫敦電報)

◇聯軍ス國鎭定決行
聯合軍はフオツシュ元帥の承認を經て獨逸スパルタカス團鎭壓の爲めデュツセルドルフに赴きたり尚スパルタカス團はルール(ライン河支流)流域に於ける同盟罷業を利用し社會民主黨に對し叛亂せしめんとしつゝあり(倫敦電報)

◇獨逸經濟危機
最近獨逸は非常の困難に陷り交通の停止、物資の缺乏、勞働の忌避等より經濟上の危機に瀕し加ふるに國民の精神萎靡に乘じ過激主義國內に蔓延しつゝあり(巴里電報)

○土葉作付擴張
東洋拓殖會社に於て昨年各地に試作せし土耳其葉は既に精製を終り全部を米國スタンダード會社京城支店に引渡したる由なるが昨年の試作約二十町步の成績より見て本年は大いに各地にその栽培を及ぼさしむべく目下殖產課にて計畫中多分本年は數百町步に普及せしむるに至らん

○鮮鐵側線擴張 三月末竣工
滿鐵京城管理局にては特別急行列車の京釜線運轉を四月より開始して中間停車場の大部分を通過せしむる事に決定せしと又新式機關車三十餘輛を米國並に滿鐵沙河口工場より輸入する事となり該機關車は牽引力強く貨車の聯結を增大する關係上目下の中間停車場の如く待避線短くしては貨物列車の入換へ並に急行通過を待ち合はす等の際に於て不便あり本年の改良施設として客月來中間驛の側線擴張を行ひつゝあるがその經費概算約三十萬圓を要すべく來る三月末までには必要各驛の擴張を了する豫定に付四月よりは列車の運行上便宜を增す事大なるべしと

○旅客收入激增
國葬の執行に伴ない地方より京城に來往する旅客少からざるため京管局旅客收入の增加は多大なるものにて二十六七日以降は一日三萬五千圓を最低とし五萬圓を超過し新記錄を作り居れりと

○吉林材近況
吉林の材木商が本年度に於て滿鐵會社と直接又は間接に材木供給を契約したる總額は七十餘萬本にして此內三井洋行二十萬本鈴木商店十三萬本、豐林公司和登商行三菱公司各十萬本、南昌洋行吉林商會の各五萬本等の割合なるが之れが手配りとして山元と契約せる高は若干の出材不能を見積らざる可らざる關係上原契約高より遙かに多く概算にて冬出物廿五萬本夏出物百萬本合計百廿五萬に上れるならんと想像せらる然るに昨年より本年に掛けての冬季は始めには降雪少く終りには近年稀なる程に早く暖氣となりしため運搬作業により一大障碍を來し之が爲め冬出し物の如きは今日迄僅々五六萬本を搬出せしに過ぎず今後の搬出數二三萬を越ねざる可しと思はるゝ程度にて大々的違算を生じたる譯なるに山元への契約高は殆んど原契約の倍額にも達したる程なれば冬夏を通じての實際廻着數は辛うじて契約額に近づくに至るならんとの觀測なり

○貨物連帶擴張
滿鐵京城管理局と朝鮮郵船會社の連帶大阪行貨物運送中草梁驛經由の連帶港に鵜津及び麗橋の兩港を追加し三月五日より施行する事となりたり

第四十一議會植民地問答(九)

第四十一議會の本會議、豫算委員會等に於ける朝鮮滿洲其他植民地並に之に接壤地方に關係せる質問應答の中重要なるものを掲ぐ。必ずしも前後の順序に次第を附せず(東京支局)

‖衆議院豫算第三分科會(三)

鞍山站位置問答

▲平田健太郎氏 聞く所に依りますと、此地方は石炭並に水のない處であると、然らば製鐵事業に頗る不利の處で經營されて居るのでありますか、果してさうでございますか

▲政府委員古賀廉造氏 鞍山站の製鐵所に於ては、御承知の通り水の供給が不自由である、又運輸が不便であると云ふ非難もございました、水に付ては昨今井戶を掘りまして居りますから、さう將來目的の貫徹は非常ないと云ふ豫定になつて居ります。それから石炭に付ては、成程少し撫順からの運搬は距離はありますけれども、赤鐵物の運搬から比較致しますと、是に石炭ばかり運搬でもございませぬ、兎に角一方が好ければ、一方が惡くなると云ふ所がありまして、丁度斯ういふ處に置いたと云ふ次第であります

▲滿鐵輸送力

▲中村啓次郎氏 一寸當局から伺ひます拓殖局長官に質問して見たいと思ひます、近頃滿鐵の輸送力が乏しくて既に五十萬噸以上の滯貨があると云ふことで、公の事實である、其上今や結氷の時期を以て滿洲の貨物は一層鐵道に向つて集中する、さうすると此需物を餘程好くしなければ滯貨の上に滯貨を重ねて混亂狀態に陷り、下積になつた貨物は腐敗する、非常なる殖產興業の妨を來す譯であります。此滯貨を來す原因を樣々に考察して居る者があるのでありますが、大なる原因は朝鮮より大連に至る四百有餘哩、此間即ち營口より大連に至る三百餘哩、長春より營口に至る百十三哩に到る間を全く無貨同樣に致して、即ち營口に至る三百哩も大連に至る四百哩も同じ運賃にして居る爲め、最も遠距離の便宜を有する大連に其の方面の貨物が集中される、之が爲めに營口を利用する事なしに、專ら大連集中主義に執られる爲に、運輸の妥當を缺して居ります、もうして今日を來したので、あれを申す者もあるのであります、私共の見る所では色々な理由もありませうけれども、此營口を利用しないと云ふことは、確に一つの理由があらう、現に滿鐵に於ては、自分の貨物を運搬する場合には、一哩一錢の運賃を取つて居るが故に——百十三哩に對し、一哩に一錢づゝの運賃を取るからと云ふ譯で、營口を利用して居る。現に唯今平田君の質問された、鞍山店方面から搬出方面の貨物は滿鐵自身に經營して居る、物に於ては、特に大連に至る百十三哩に付て一哩一錢づゝの運賃を拂つて居る、之を拂はなければならぬから營口を利用して居るのに、他の貨物に對しては運賃を取らない爲めに、爭うて大連に集つて來る、斯う云ふ事は元來帝國の彼の方面に向つての政策と致しましても、成べく一步でも日本に近い處よりも、日本より遠い方面に向つて力を注がなければならぬのに、大連集中主義を採られて、大連方面に向つて、運輸する特定運賃なるものを設けて營口を壓迫して居ると云ふが如き事は、甚だ策の得たるものでないと思はれるのでありますが、政府は此營口と大連の間に於ける運賃に關して、考慮する所ありや、それから今日の滯貨を拂く爲めに、迅速に將來貨車を增發する計畫ありや、此二點に付て明快に御答辯を願ひたい

▲政府委員古賀廉造氏 滿鐵の運輸の圓滑ならずして滯貨の數の大いのは御同感である、私の聞く所は最初六十萬噸以上は越して居る、近來少しく捌けまして、五十萬噸位になつたと云ふ事を聞いて居るが、是はどうにかして荷捌きをしなければならぬこと、思つて居る、其一つの原因として今主査の御說がありました所が、距離に於て百哩以上違つて居る所の線路に、同一貸錢を以てすると云ふことは、是は甚だ不公平極つた話で、斯の如き貸錢が長く繼續すべき筈はないのであります、元と大連築港と云ふ趣意で、此不公平な政策を採つたかも知れぬが是は早晚どうでも改正を要するものであるそれで私の方でも都督に協議して速に此運賃改正を促して居る都督の方も之に同意しました又それのみならず奉天と安東縣から釜山此の貨物に於きましても多少違つた所があつて荷主の爲には餘程不自由な取扱ひになつて居ると思つて居ります此方も同時に改正する積であります近々に必ず改正案は出來上ると思ひます不公平を矯正すると云ふことになると思ひますそれから貨物の停滯に付きましても將來どうして貨物の增發と云ふ事は必要と感じます是亦滿鐵の方に於きましては大分の數量の貨車と機關車を拵へることになつて居ります來年度に於きましては必ず多數の機關車と貨車が出來まして運搬の點も不便を感ぜぬこと、相成る事と思ひます

八面鋒

◆英國は國際勞働法に於て、自由移民を主張し、米國は全然之れに反對せんとす。自由を尚ぶ勞働を尊重する米國は、今や國際的に其の矛盾を貫ぬかんとするか。

◆クレマンソー君容態良好、彼が復して再び議長の椅子に著くも、亦遠からずと、此の時若し陶庵侯佛京に著すべく、一見舊交の無限ならん、希はくば意氣舊の如く、其に國家の爲めに自愛せよ。

◆巴里に於ける日本講和特使の一部に參加し居たる、本多公使は、先輩の忠告をも聽かず、突然其の任地に向つて去れりと。感情の衝突か、將た又嫉妬をつかしたる爲か。もとより吾人其の理由を知らずと雖も、列國環視の時の舞臺に於て、內輪喧嘩は餘り感心すべき話に非ず。殊に支那講和委員に彼の如き言動ありたり、吾人の喧嘩好きなる斯くては依然人種無差別撤廢案が、昇つまらざるなる理由なきに非ず、更に慎重の態度を要す。國使到着の上は、希はくば上下同心協力、面目の一新を期せよ。

◆西貢米の輸出增加に加へて、蘭貢米の輸禁、支那米輸出說等、外界の故障紛々撤せられんとし、爲めにしもの內地米價も、定期市場は連日下げ相場を演じて憚らず、引いては朝鮮の米價にも、多大の影響あるは明かなり。吾人は更に進んで、其の他の物價にも、速かに平和の還り來らん事を、希望して止まず。

◆春光駘々、景趣日に麗からんとして、心身亦快適、暄春なる哉。

時間表

[illegible]

大正七年七月一日改正現行

撫順炭 山下製コークス
京城府漢江通十三 特約販賣 實榮商會 電話一〇七番

朝鮮學術研究會編 中學 商業 高等女學 高等普通 各校 入學試驗問題集 答案
大正七年度 四六版二百餘頁 ▲定價金五十錢 郵料四錢
入學の榮を得たき學生諸氏は至急本書を座右に備へられよ
發行所 京城本町 振替二二三三 ウツボヤ書店
發賣元 京城太平通 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
取次販賣所 ▲大阪屋 ▲岩松堂

敬白 鑛山機械火藥商 藤野商會 藤野敏夫 京城太平通一丁目九五 電話二五一九番

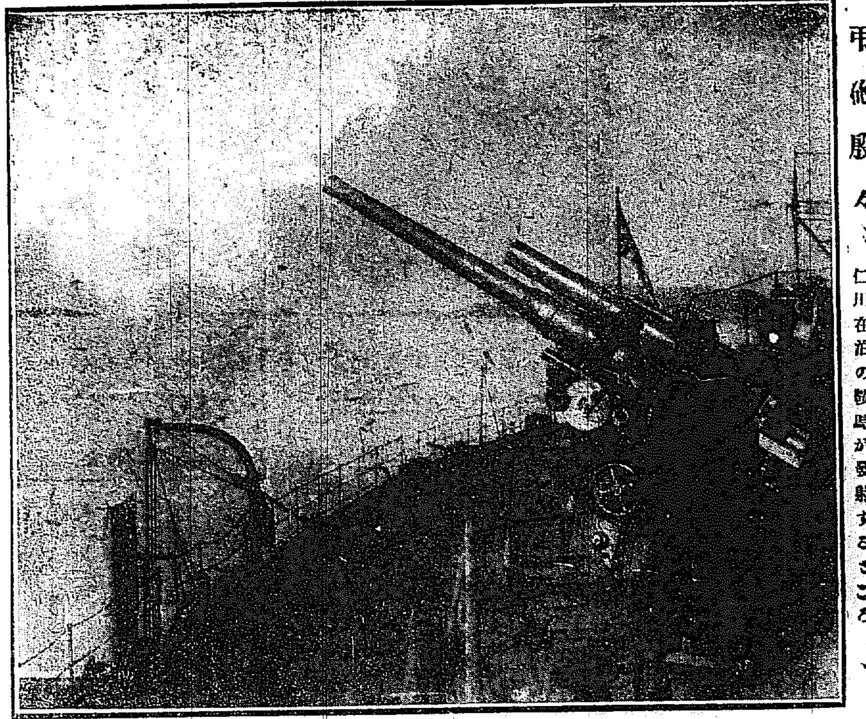
小石川モートル 小石川旋盤
特色 設計技術ノ優秀 材料ノ精撰 價額ノ低廉
營業科目 電動機、發電機 高級旋盤、各種電線
株式會社 小石川製作所 東京市小石川區久堅町百八番地 電話小石川一七九一

敬白 三井物產株式會社 仁川出張所 仁川海岸町一丁目五番地 電話長三〇六、四三〇 振替京城三〇七四八

本邦最大の種苗生產者
種苗目錄 送呈
▲各位の深甚なる御引立により本會に於て我國最も大なる採種家たるの光榮を得申候
▲朝鮮は寒國たる我が弘前產の種子最も合適致し居候
▲百聞一見に如かず我が廣大なる採種場御覽下され度候
◎特約販賣店募集
種苗生產直輸出入業 弘前市外取上田町 北日本農園 [illegible]

開業御披露 鞍山唯一の休安
滿鐵指定 近江屋旅館
新開地の鞍山の都 木の香ゆかしき
玉突等の娯樂場 簡易食堂有之候
鞍山驛前

各種 麻繩、玉糸
麻苧、マニラロープ
綿糸撚糸、棕梠繩
麻、綿糸ハツ打網、シデ網、源平糸、帆縫糸、縮引ケ、ミ糸
○地方御注文ハ迅速ニ御便宜相計可申候
京城本町二丁目 森政吉商店 電話一五九四番



弔砲殷々 仁川在泊の艦隊が發射するところ

◎李太王殿下國葬

訓鍊院頭の大盛儀

朝野の貴顯悉く集り弔す

故大勳位李太王殿下の國葬儀は豫て定められたる如く三月三日城東訓練院祭場に於ていと嚴肅に執行せられたり、天子朝を廢し上下業を棄て、唯悼み唯悲しむ、風は梢に死して聲なく人は涕に閉ぢて萬象悵然たり、稽首して想ひまつるに、殿下世に在ますや聰明寛厚、上高貴の師こ仰がれ下庶民に範を垂れ給へり宜なり、天子其德を頌し特に誄を賜ひて其靈を慰め給ひし事や噫、君の眷寵世の尊敬比びなかりし殿下の靈も今や幽明遠く隔らんこす、哀み奚んぞ堪へん、噫。

▼盡させぬ御訣別

この遣奠の儀を擧行 慟哭の聲湧く如し

哀しくも李太王殿下の御靈柩を今谷の塋域に送りまつる、永久に記すべき此朝よ德壽宮咸寧殿内正殿は雲樣の黃色緞子を以て蔽はれたる靈殿寂太こ神々しく拜せらる、午前六時三十分、紗籠連り香煙ゆらぐ中に御近親近侍の人々は油菓、藥菓、朝菓の神饌、飲洪菓、魚肉揚等朝上食の神饌を奠す每日祭こ異なり之ぞ德壽宮に於ける最後の御別れさて今更ならが名殘を惜まれ歔欷の聲漏る、ぞ悲し黎明の氣は清く澄み朝暾將に東の空を茜に染んこす、午前七時、正寢に垂れたる黃色殿子は搴げられ朱雀玄武青龍白虎の障子開かる、や黒漆の梓宮は

◇緋羅紗の柩衣七重を以て結裹せられたる上を赤き網に被はれ更に白絹の蓋の儀安置せられたり御近親御近侍庭盛の人々は御靈柩を車狀置の輪臺板に移し奉る盧幕の中は更なり内外哭聲又三拜九拜して慟哭す、靈柩は四十三間の廊道の白座板を音もなく曳かれたり白麻の喪服を著けたる御近親近侍の人々が曳き綱を持つ手悲しみに顫へるさへ見られたり盧幕から澄る、如く或は柱に倚り或は地に跪き屈道をふるはせて慟哭する有樣限りなく痛まし聽て光明門外の小輿は縮しろき被ひの白絹撤せられ殿子の龍紫けられたり午前七時三十分廊道の端に進みたる靈柩は恙なく小輿に遷まり給へり永き廊道を靈柩に扈從し來れる人々の悲痛なる慟哭の聲相和し相響て咸寧殿裡哀痛愈深し三殿下又御哀惜に堪へ樂給ひ

◇御瞳には涙の露を 宿し給へりこ承はる光明門外に控へたる奉柩閣の輿丁等は整然一絲亂れず黃色の龐綱を把り装發の準備成る提調の振鈴の音悲しく陪柩將校陸軍大將秋山好古將軍以下柩側に立ち勳章捧持の陸軍參將朴斗榮氏以下十二名の將校は夫々大勳位菊花頸飾以下の勳章記章を捧げ靈柩の前方に立つ斯くて靈柩は光明門外より大漢門へ進まれたり旭光は雜具の金碧に輝き滿民堵列の大漢門前へ一歩又一歩現はれたり扇纖は風に動かず力なく垂る・も哀しにて

山縣葬儀掛長以下の本[illegible]

▼流れ行く『哀みの曲』

鹵簿肅々沿道悲愁に充つ 拜觀者無慮數十萬

悲しき霜に閉されたる三日の朝まだき黃金町一丁目より訓練院葬場迄の御通路は學校生徒其他各團體拜觀者無慮數十萬を以て埋められたり、李太王殿下の御靈轜を納め參らせたる小輿が大漢門を出でたるは七時三十分道樂の音夢の如く漂ふ裡に靜々こ進日の下に進み直ちに普美を盡したる大輿に遷奉す、斯くて一切の準備全く整ふや八時十分騎馬警部及び正裝の警視先驅を承はり次に燃ゆるが如き緋羅紗の海軍々樂隊、海軍第一大隊列に立つ續いて第十九師團司令部、穗先冷たく

◇朝暾に光る槍を捧げたる騎兵第二十七聯隊の一箇中隊、步兵第七十七聯隊本部、同聯隊代表、同第七十八聯隊、朝鮮步兵隊が宇都宮總指揮官號令の下に哀れさ身に泌む奏樂こ共に步武緩く前進す、夫より數名の葬儀掛員を挿んで龍旗四旒、白旗、虎旗四旒四對、鉾四對、榊三對、黃色錦旗、白色錦旗等次に大眞榊一對、儀欄史床雨皮、輿棚、狩衣徒步の祭官副長、伊藤祭官長、祭官四名衣冠徒步の越祭官相隨ぎ次に各宮家より贈られたる榊、兩陛下より御下賜の根越榊、樂師等整然こして連り國分李王職次官、閔李王職長官衣冠徒步にて其後に從ふ次に大勳位菊花大綬章を捧持せる陸軍步兵參領朴斗榮氏こ勳章を捧持せる步兵副領中村均氏、同副尉李德鎭外九名の勳章捧持者あり八時三十分數百名の引綱及び擔軍が奉仕せる靈輿は勅任官以下の文武官北漢御會葬諸員奉送の裡に靜の靜

◇緩やかに搖ぎ出し 靈輿の右側には步兵中佐栗原東平、步兵正領魚潭、陸軍大將秋山好古、同中將李秉武、左側には步兵副領李秉倫、同正領王珍涼、參議趙性根、少將井戸川辰三、中將尹永渙の諸氏伺候し正裝にて陪從、出時龍山野砲兵聯隊が撃ち出す弔砲は殷々して京城の空を振り搖り悲壯の氣全市に滿つ靈輿の後には李王職賛侍趙氏際子徒步にて從ひ次に喪主李王殿下は尹德榮子、王世子殿下は金應善武官、李堈公殿下は金享燮武官の各御陪乘

◇白麻の祭服姿痛々しく馬車を驅られ次に御親戚一同大禮服に勳一等旭日大綬章を佩たる山縣葬儀掛長、宇佐美、兒島、荻田、工藤、遠藤の各葬儀掛、各主治醫、大勳位親任官以下總ての諸員等何れも徒步にて隨ひ次に李王職洋樂、陸海軍諸兵指揮官宇都宮太郎中將、王世子殿下こ最も御關係深き近衛步兵の一個中隊、步兵第四十旅團司令部、同第七十九聯隊、同第八十聯隊代表隊、海軍儀仗兵指揮官別府友次郎大佐、海軍第二大隊の順に續いて後尾は九時十分しき泣く『哀しみの曲』こ共に前進を起し順路徐々訓練院に向ひたり

◎淨砂肅たる葬場

=四邊の山河哀音に滿つる時=

鹵簿到著す

霜を踏むその足並の靜けさよ

鬧闇の帷未だ漂れず滿地の霜白うして冷氣凛たる朝まだきより葬訓鍊院廣場なる國葬儀場には諸係員、巡査、憲兵、人夫等甚白役々の働き振ひを續けさせる葬場内外の飾設、警衛の任に當り鹵簿の到著に先だち葬儀の準備に萬遺漏なきを期せり葬場の御神樣を拜觀するに祭殿は左右後三面に幔代を作り前面に簾を垂れて其半が東側御供舍の上には龍清水滿々こ湛へられ場内一面に淨砂を布き詰めあり内柵は黑白鏡縞の幔幕を繞らし黎明の葬場一圓は森こして朝霧の底に眠り祭殿の屋根黑く浮き出で、神々しさ云はん方なし、係員人夫が蒔して霜に凍れる場内の鹵簿通路に篩を入るれば淨砂の上は小波を描いて滑々し。時進みて午前九時半場の飾設全く成り先着の諸員亦休所に參集し十時を過ぐる分餘勅使、皇后宮御使、東宮御使馬車を驅りて休所に參著す。九時十分先着の參列諸員祭殿に向って左幄舍の前に鹵簿を候迎すべく整列するや忽ち

葬場正門の彼方に當りて人の腸を斷つが如き奏樂の音聞ゆ之ぞ鹵簿の先頭葬場に著せんこし海軍々樂隊『哀しみの曲』を奏しつ、正門に入りぬ。淨砂を踏むその足並の靜けさよ鹵簿は順次に葬場内に入らむこするなり。海軍第一大隊正門を入れば第十九師團司令部之に次ぎ槍旗を冷風に靡しつ、騎兵儀仗隊は向つて右側外柵内に皆み並べぬ續いて

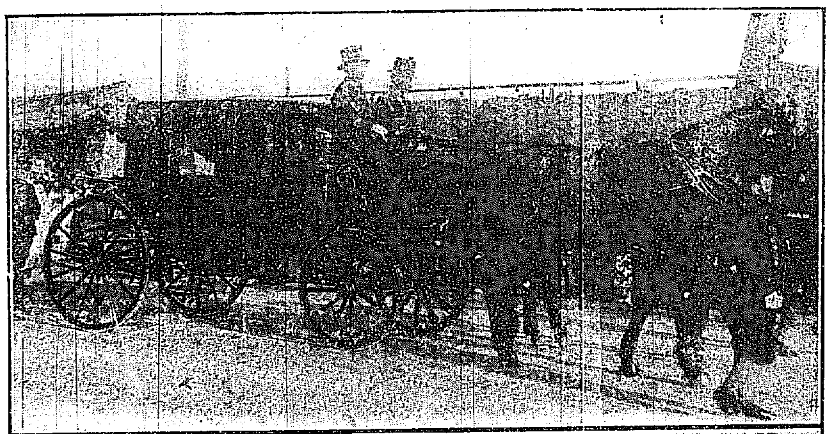
▼哀しくも 澄みたる喇叭の音は門前に當りて頻りに起りめ之れ陸軍儀仗の各部隊より吹きなす「哀しみ」を奏しつ、行進し來れるなり葬場内外の空氣は怨らに喇叭の氣大鼓の響に打顫ひ四邊の山河聲を吞み慘こして聲なき塲内は恰も潮の滿ち來るが如くいこも靜に儀仗の海陸兵を以て刻々に埋めらるを見る。前衛儀仗に次いで

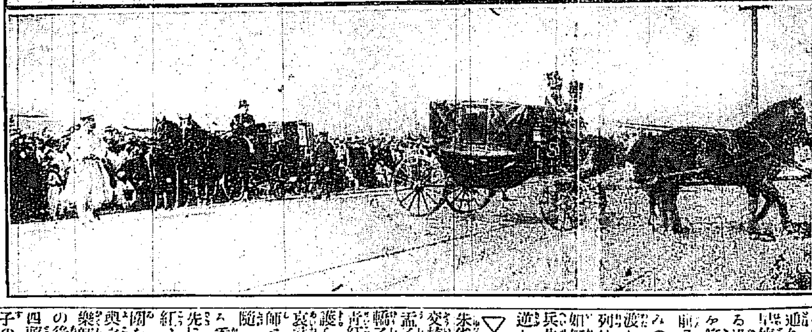
▼神代乍ら の黃旛白旛の各四旒を先頭こして樂隊網之き順次正門を入り伊藤祭官長の後よりは各宮家の榊殿き 聖上皇后兩陛下及び東宮より御下賜の御榊は各八人の捧持者に擁せられて祭殿の前面左右に供へらる次いで樂師六名は幄舍前より哀調切なる雅樂を奏しつ、樂舍に入りぬ。次に勳章捧持者進み、靈輿は靜々こ輿丁に擔ばれて祭殿に向ひ次いで喪主殿下王世子殿下公族の

馬車は淨砂に轍を埋めつ 音も無く祭殿の彼方へ轢り行き、長谷川總督、山縣葬儀掛長、野田遞相の順にて燦たる禮裝を並べて御馬車の後に隨ひ次に李王職洋樂隊吹奏嚠喨る、が如く哀しき調べを奏でつ、入り來る後より後衛の陸海儀仗兵續き鹵簿は悉く葬場に著したり時に正十時

東京の國葬當日

故李太王殿下國葬當日なる三日の東京市にては各戸弔旗等悉く弔旗を揭げ折柄祭當日なるも市中何こなく寂しく鳥居坂なる李王世子邸にては殿參事初め林樞密以下職員在京關係者一同喪服の姿痛ややかに接見所に參進し午前十時靈輿發引の時刻を期し遥かに京城の方に向ひ一同恭しく禮拜を爲し其後は終日謹愼して當日を終れり(東京特電)





馬車にて扈從さるゝ李王(上)と王世子(下)

葬場祭の儀

祭官長靈前に祭詞を白し了れば勅使、まづ參進して玉串を捧ぐ

青竹を杖つきて喪主殿下禮拜す

參列諸員休所に休憩する中午前十時四十五分參列者一同幄舍内所定の場所に著床す「葬場祭御儀の時刻到れるなり。謹みて祭殿の正面を拜するに殿内正面には靈輿萌黃色の緞子に包まれて安置され、祭殿の前面左右には黃、白の錦旛、黃白旛、旛鉾等布列され大眞榊深綠の色を混へて正面に樹てられ祭殿の氣凛ふ。やがて李王、王世子兩殿下は祭服姿にて參拜本位に著かせらる。兩殿下共に御顔色痛々しう瘦れ給へるを拜しぬ。靈輿せられ再び哀切悲痛なる雅樂の音律祭舍の側面より起り紅白吊一疋白紬二疋御宮に納められたる幣物を奠ぜられし時新町前面の丘上に當り閃光紫煙を喚びて砲聲は殷き渡りぬ。弔砲の第一發は發射せられたるなり。祭官長靈前に進みて祭詞を白し諸員[illegible]葬場咳の聲だになし次に勅使日根野侍從は荻田總務局長先導にて順次玉串を捧げ次に皇后宮御使三室戸主事は久水事務官の先導東宮御使は久芳事務官先導、皇族御使は郡山事務官の先導にて靈前に玉串を捧げ次に李王殿下玉串を捧ぐべく

青竹を杖づきて靈前に進まれたる御姿痛々しう拜せられぬ。次ぎに王世子殿下李堈公の御順にて玉串を捧げられ長谷川總督之に次ぎ拜禮退出せんこする時捧銃の號令一下場内[illegible]たる儀仗隊一齊に銃を捧げ劍光滋の穗の如く白日に輝き、捧銃の號令こ共に軍樂隊、李王職洋樂隊、喇叭手等一齊に奏樂を始め塲内には再び慌しくも哀しき音律湧き起りぬ、拜して諸員順次拜禮を終へ饌は撤せられ最後に哀しみに咽ぶ雅樂奏でられて祭殿鎖軍を極め葬祭塲の御儀は閉ぢられたり

▼人の渦

鐘路より東大門

德壽宮を進發せる國葬列鹵簿訓鍊院葬場に入るや沿道拜觀者は東大門に朝鮮式葬列を拜せんものこ雪崩を打つて鐘路通りは人の渦を卷き身動きさへ出來ず非常の雜鬧を極めたるが折柄永成門を進發せる朝鮮式葬列群集を押し分けつ、進行し來れるより一層の雜鬧を極め東大門内外は全く人によりて被はれたる如くなりき

▼國葬儀を寫す 一般寫眞師の爲め特に許可せられたる本社前北他二箇所の寫眞撮影所に於ては多數の寫眞師レンズを揃へて鹵簿の通過を待ち先驅警部の進發こ共に一齊にパチ〜〜遣り出したるは見ものなりき

▼香煙力なく……

神輿に靉きつゝ

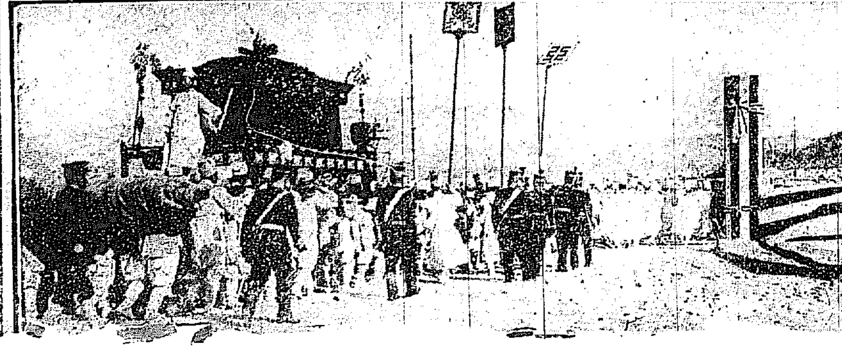
朝鮮式葬列東大門外へ

朝鮮式葬列を拜觀せんこて永鍾路通りも却々の人出、午前六時には早くも德壽宮永成門より東大門外に到る沿道は既に十重廿重こ厚き人垣を築き大雜鬧を呈したり斯くて午前八時半儀仗兵の吹奏する『哀しみの曲』涙を唆るが如く微に響き渡れば永成門を出でたる朝鮮式葬列は痛々こして行進を起す葬列は如何にこ思ひきや三名の騎馬巡査兵先驅を承はり朝鮮步兵隊銃を逆しまにして之れに續き

▽黃龍旗 朱雀旗の後より銀交椅、銀瓶子、銀盂子、黃黎交椅平轎子等進み多數の靑紅旗旗紗籠等に護られたる闊興は哀音喇ぶが如き樂師こ九張の腰輿に隨ひ、香煙立ち昇る香亭子(香爐)を先に樂師青、白、紅、數多の燭籠四閤を取卷きたる神輿之に續き玄武樂師十二與の彩輿の後よりは竹散馬四頭黃、紅色の殿子の帷に包まれたる小輿は之に續く小輿は多數の擔軍に擔はれ其前後には

▽四條の太き龐綱を附し多數の引軍之れを引けり其の後より『故大勳位李太王殿下之靈輿』こ記されたる銘旌力なく朝暾に映ゆるも哀し次に朝鮮步兵隊騎馬憲兵隊千の奉送諸員等隨ひ

◎救護者皆無 赤十字社本部にては醫員看護婦を率ゐて鍾路通りを一直線に過ぎ訓鍊院葬塲裏に到著せしは恰も正午前[illegible]内、黃金町東拓前、若草町停留所前、初音町停留所前の四ヶ所に設けられたる救護所に派遣し[illegible]に備へたるが一般拜觀者が禮讓を守りたるこ[illegible]



大輿葬場に著す

◎恩給や年金で金借る人 [illegible]

◎懷中工合が頗る暖か [illegible]

◎資本にて もしやうこ [illegible]

◎獨潜航艇は四月頃來る

◎連絡船上客 一日 [illegible]

天氣 晴一時雲 [illegible]

[illegible]給や年金の立替を營業にして居る某氏は曰く昨年中は勞働者社會の景氣が非常によかつた又會社員は實に寂寥極る私帳でおつた然るに本年に入つてからは多少增加した樣に思はれる從來の例では此の恩給年金の立替を依賴する者の中食ふに困つて借[illegible]る人が幾分數を示して居るうでめるゝ借に來るものも從來は軍人側に多かつたが此頃では文官恩給所持者に多[illegible]

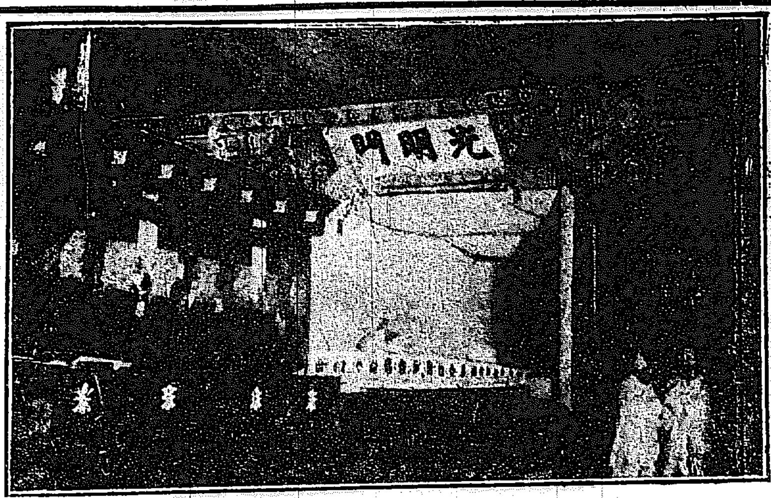
[illegible]聯合國より分配されたる獨逸潛航艇七艘は四月到着の筈なるが內二艘は舞鶴に廻され陸上にて一般の[illegible]

[illegible]赤田、吉、永田[illegible]、同一三介、岡村[illegible]、松、吉[illegible]、同九[illegible]、深山[illegible]、岡部[illegible]、[illegible]、曾[illegible]三名　二等(百〇七名)兒玉伊太郎、[illegible]

[illegible]三、同利子、花田[illegible]、本田一[illegible]、[illegible]昇吉、[illegible]、佐々木一治、[illegible]河[illegible]、[illegible]大崎富三、[illegible]、同千枝、[illegible]、大木山[illegible]、村上[illegible]十[illegible]、大木與[illegible]、下村[illegible]一、同

[illegible]一郎、高田[illegible]、[illegible]次郎、原[illegible]、[illegible]三郎、[illegible]、須々木[illegible]、郎、西原金[illegible]、[illegible]定一郎、高濱七江、原かづ、同茂、佐野せい、同よし[illegible]、みさか、東[illegible]、宮岡[illegible]之助、木子[illegible]

三等(四十名)橋本雄定、金[illegible]正二、池上[illegible]、要吉、同益代、同金美子、前田政一、山村永次郎、市瀨亨、同さだ子、[illegible]西つる、[illegible]千代子、同より子、辻本[illegible]、[illegible]山みつ、西田文子、同幸子、橋山幸[illegible]、[illegible]竹


光明門を出でんとする小輿

◎仁川港頭砲聲咽ぶ
派遣艦隊二艦の分時弔砲

梓宮將に大漢門御發引、三日午前八時三十分仁川碇泊の派遣艦隊須磨伊吹の兩艦は靜かに砲門を開いて分時弔砲の儀禮を行ひたり朝霧深く罩て朝暾蔭薄く硝煙艦影を蔽つて殷々たる砲聲恰かも咽ぶに似たり斯くて同五十分兩艦各二十一發の弔砲儀禮を終れり此日須磨、伊吹の兩艦は終日半旗を揭げて哀悼、恐く艦內にありていこ靜謐に敬弔の意を表せり

◎永劫の訣れの
國葬儀を拜せんと…
滿街內鮮人に埋む

國葬を拜し永劫の訣れを惜み參らせんと黎明より御道路附近に押寄せ來る群集引きも切らず午前六時半早くも大平通り入口、朝鮮銀行入口、南大門通り、黃金町十字街の通行止めとなり多數の警官憲兵は潮の如く雪崩込む群集を沮止するに聲を嗄らし居たり午前八時ともなるや

▽御道筋 の交通遮斷せられたれば龍山方面より押し寄せたる群集は此處にて遮られ止むなく引き返して南大門より西大門に迂回し辛うじて鐘路に出る者一方本町筋より光熙門に出で遂に靈輿を拜するもの多く沿道の各横町人壓き人垣を築き其後よりゾロ〳〵ミ押し寄せる拜觀者引きも切らず中には前の頭が高いなご呟く拜觀者もありしが靈輿通過の際は流石に靜肅を還り咳一つするものなかりき斯くて海軍々樂隊を先頭させる[illegible]條に亘れる悲しき

▽御葬列 漸くにして遠ざかれば黃金町一丁目、若草町通、總督府醫院通りの三十字路に限り一時一般の交通を許されたれば往くもの還るものにて忽ち大混雜の人の渦を卷き沿道警備の巡査憲兵總掛りにて取締るなご大變なりき

▽半旗悲しき

國葬通路
敷千の學生を最前列に
民衆二十重に堵す

李太王殿下の國葬は別項の如く三日朝より執行せられたり此日市中は戶毎に半旗を揭げて弔意を表し總督府附近より訓練院の葬祭場に至る靈輿御通過の沿道は龍山在鄕軍人會、龍仁郡國防人會員、龍山將校婦人會員、龍山赤十字社員、各小學校生徒五千人

▽濟生院 及び公立普通學校生徒三千七百人、初等程度各私立學校生徒四千六百人、專門學校農學校、高等普通學校、中學校各生徒二千八百人、中等程度各私立學校生徒三千二百人、京城在鄕軍人會、同赤十字社及び愛國婦人會、將校婦人會の各會員、各宗教團體等三列又は四列に整列し其後方には一般民衆群をなして

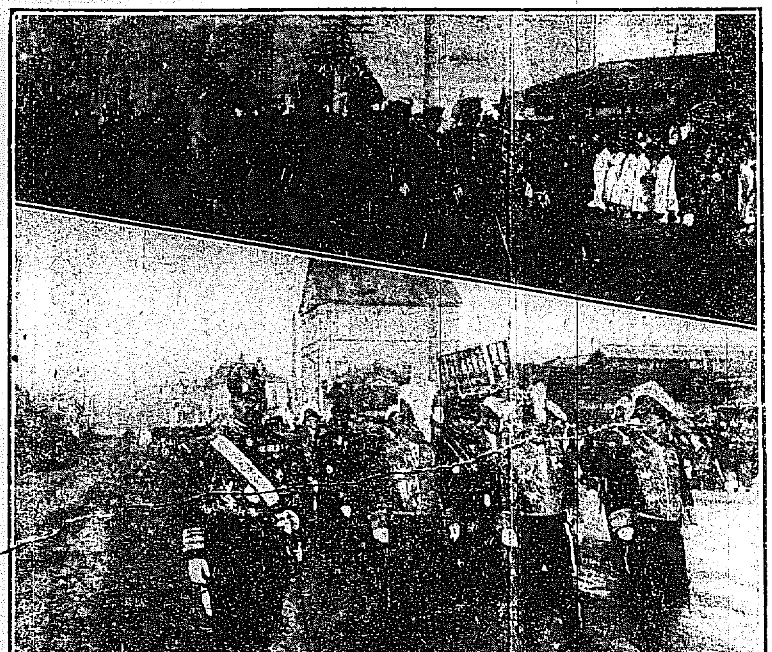
▽靈輿を 拜し殿下御在世當時の御盛德など憶ひ合せてそゞろ暗涙を禁ぜざるもの、如くなりき殊に東拓會社前庭には八十歲以上の高齢者の爲め特に莚を敷き詰めたる拜觀所を設け高齢者は此處に端坐して拜觀し居たるが兎角老の眼の潤み勝ちにて靈輿御通過の際なごハンケチを出して眼を拭ひ居たる者もありき

▽差遣艦弔砲 下の釜山

愈李太王殿下國葬を行はせらるべき悲しき三日は釜山地方朝來薄曇りなりしが市內各戶は半旗を揭げて敬弔の意を表し大輿發引の時刻なる午前八時三十分となるや港內碇泊の差遣驅逐艦[illegible]驅逐艦分時弔砲を發射し[illegible]るが尙ほ當日各學校其他官衙に於ては課業を休みて敬弔式を行ひ又鮮人有志は正午より釜山鎭小西行長城跡に於て敬弔式を行ひたり(釜山電話)

▽仁川府の敬弔

[illegible]葬儀當日仁川市民は各戶半旗を揭揚して敬弔の誠を表し市中極めて靜肅なり


(上)儀仗の騎兵　(下)御會葬の文武官

◎戰死傷二百
＝西伯利軍未前の大激戰
田中枝隊殆ご全滅す

西伯利出征軍田中枝隊は廿六日ユタカ(アレキセーフスク北方五里)附近に於て敵過激派軍大集團と遭遇激戰の後之れを擊退したるが我が軍の戰死傷二百名を算し田中隊長は行方不明にて枝隊殆ど全滅の姿なり敵の死傷又多し(陸軍省公表)

▽田中隊長行方不明
ユタカ大激戰後報

先般ブラゴエの東南アンドレフカに於ける敵の大集團を包圍せんとせるに敵は西北方に退却するより我一部隊は直ちに鐵道に依り敵の北側に出でんとし一方田中少佐の率ゆる約二中隊は敵の南側に出でんとしブラゴエ市を包圍す二十四日夜田中枝隊はフクラムエスカに於て多大の敵と衝突し之を擊退せるに敵はイヴーフカに向ひ退却せるを以て我軍は之を擊退中二十六日午前二時約一二三千の敵兵とアレキセーフスク東方五哩ユタに於て遭遇し激烈なる戰鬪の結果之を擊退し得たるも隊長田中少佐[illegible]野砲兵[illegible]大尉西川達次郎佐々木[illegible]死傷二百名の多きに上れり

▽敵の大集團と激戰の末
新井留守十二師團參謀長談

二十六日の西伯利アレキセーフスク[illegible]戰鬪に於ける我軍の戰死[illegible]者は別項陸軍省公表の如く二百名[illegible]は殆んど全滅し田中隊長は行方不明となれりこあるが昨朝出征聯隊長より北方野砲兵十二聯隊補充隊長に宛たる急報に

去る二十六日アレキセーフスク附近戰鬪に於て激戰の後當聯隊大尉西川達次郎少尉佐々木來頑以下下士卒二十數名の戰死者を出せり

こあり就て留守第十二師團司令部の新井參謀長を訪へば『先日來頻々として傳へられたる過激派の蜂起に對し我討伐隊は其都度多少の犧牲を拂ひつゝ兎も角も隊明以上の好績を收め形勢は逐次順調に進展しつゝありたるに今回百幾名の戰死傷を出せり この急報に接し死傷は武人の常こはいへ吾人は此の尊き犧牲に對し滿腔の同情と感謝の意を表せずして可ならんや北方野砲第十二聯隊に屬したる戰死者數は無論陸軍省公表の

死傷數に包含し居る一部なりこ信ず初めアンドレファ附近に蜂起したる過激派討伐の爲め先づザビタヤに在りたる米谷高野の兩大尉に命じ急行せしめたるが當時敵の數案外多數にて兩大尉は

非常の難戰に陷りたるを以て更にブラゴエに在りたる堀少佐に命じ稍有力なる部隊を率ゐて討伐せしめんとしたるも、亦

堀少佐以下多數の戰死者を出すの戰況なりしは呼に諸君の了知する處なり形勢斯の如くなりしを以てブラゴエに駐屯する山田第十二旅團長はアンドレファ附近一帶を根本的に掃蕩せんとて高橋枝隊(小倉歩兵第十四聯隊長)是と連繫する田中枝隊(大分步兵第七十二聯隊)を西伯利戰に於ける最大の激戰なり北方野砲第十二聯隊の戰況は後報によりて詳細を知り得るも西川大尉以下二十餘名の戰死者を出したるに徵して負傷者は百名內外を算すべく然らば殆んど全滅に瀕する苦戰に陷りたるに非ずるなきか[illegible]の情勢に陷り激戰の結果推して知るべきのみ』云々と語れり右の西川大尉は兵庫縣士族にして明治三十七年少尉任官同三十八年六月中尉に進み大正二年大尉となりし人佐々木少尉は和歌山出生にして大正五年十二月少尉任官今日に及べり又行方不明となりたりこある田中枝隊長は大分步兵第七十二聯隊第三大隊長(少佐)にして名は勝輔と稱す(門司電話)

田中枝隊は[illegible]二十五日小戰を交へて四名の負傷者を生じ田中枝隊は翌二十六日アレキセーフスク北方五里ユタカに於て敵の大集團と激戰の末 陸軍省公表の如き死傷者を出したるものと想像さる二百名の死傷者を出すとは今次の西伯利戰に於ける最大の激戰

衣冠の李王職高等官(右)國分次官(左)関長官

◎若目氏冤罪

大正[illegible]元山支店主任岩目猛男氏が先般突然永興署に拘引されたる事は既報せしが其後咸鏡南道地方法院咸興支廳にて取調への結果全く冤罪なることと判明せしより釋放せられ歸元したり(元山)

◎金融組合(咸興)

咸興に新設せんとする都市金融組合は過般發企人會を開催し引續き創立總會を開き定款其の他法定の決議をなし去る二十四日認可申請書を提出したるが該組合成立の曉は銀行家にとりては資金調達上至便なら取引をなし得ざる程度の小工業者も各地の狀況に察すれば設立後三年間は必ずしも好成績を擧ぐるに至らざる可しと

卅六番角力

毛谷村六助　百六十席
桃川桂玉口演
浪上義三郎速記

木村又藏は加藤虎之助が姉川へ出陣したと聞て落膽いたしましたが 又『僕は 私 は昨年加藤樣と主從の約束をいたしましたものでござりますが、母が永らくの間病つて居まして、それが爲にお側へ參ることが遲れましたのでござります處が此度母は死去いたしましたに依て、漸う跡片付けをいたしまして今日參りましたやうな譯、然し御出陣に相成つたとあればいたし方がございません、兎も角も是から姉川へ出陣をいたしまして、戰場に於て御三人にお目通りをいたし度うござります、然し何うも斯樣な姿では出陣もいたし兼ます、願はくば鎧を一領に兜を一頭、槍を一筋借用の儀を願ひ度うござりまする』 母『オヤ左樣でございますか、貴下折角の仰せではございますが

卻々伜は其の樣な品々を餘分に行つては居りません、殿も只今では井上大九郎こいふ者こ飯田覺兵衛こいふ二人の家來が居りますが實は昨日も其の者共へ著せる鎧が無いと云つて、漸うお組頭の方へ願へまして、雜兵の著まする至具足を借りて著せて出したやうな次第でございまして、ありさへすれば御用立申しまするが、左樣な譯合でありまするから、惡しからず思召下さいまする樣 又『ヘエー』又藏は驚きました、これは甚い、昨年加藤樣が五百石遣はすと仰被つたが、此調子では五百石も危ない、まア何でも宜い、一旦主從の約束をしたのだから、是非とも主人の傍へ行かうと思ひましたから 又『それでは仕方がございません此儘ボツ〳〵出懸けることにいたしませう』と加藤の母に別れを告げ、城內を出ましてブラ〳〵町へ出懸けて參る途中、熟々考へましたが 又『何を云ふにも斯樣な姿で戰場へ飛び出した處で、第一軍中を往來することが出來ない、せめて鎧だけなりこも著て行きたいものである、何うか工夫はつくまいか』と思ひながら參りまするミ、一軒の立派な鎧屋を見付けました何しろ亂世のことですから、長濱の町にも鎧或は武具を商ふ家が隨分澤山ございまして店には立派な鎧が飾り付けてございます 又『ハヽア當家は武具を商ふ家だな、一番價を付けて見よう』と隨分づう〳〵しい男もあるもので、ズイミ其家へ入つて參りました 又『亭主、お前の家は鎧屋か 主人『へエ左樣でございます 又『身共は是より姉川の戰場へ出づる者だが鎧を一領求めたいものである 主人『へエ〳〵、さア旦那樣何うぞ此處へお掛け遊ばして 又『許せよ』ミ脊中に脊負つて居りました錢を包んだ風呂敷包みをドッサリと此處へ卸しまして、鎧屋の主人は、僕は此の人は戰場で一と働きして出世をしようと云ふお方に相違ない、裝は惡いが餘程澤山金を持つて來た人だと思ひましたから、叮嚀に取扱ひ 主『何うも今日は大層お暑いことでございます 又『さア體が暑くて困るのう 主『左樣でございます……小僧や、旦那樣に砂糖水でも一杯持つて來い 又『イヤ亭主、持つてくれるな』云ふ內に其處へ砂糖水を持つて參りました、早速一ミロ飲みましたが 又『あゝ快い心地だ、亭主、あの正面に飾つてある鎧はあれは何ミいふな、餘程立派なものだな 主人『へエー〳〵、篤ミ御覽下し置かれまするやう、あれは金小實萠黃糸緘でごりまして、卻々鍛へも確かりしたものでございます、旦那樣は大柄で居らつしやいますから、あの位大きなものでないミお身體に合ひますまいミ心得ます、殊に兜に金の鍬形が打つてございまして、五枚でございます、又小手脛當ては白檀磨きになつていゝ小道具なぞも悉皆附いて居ります、鎧下は此方に藏つてございます、何うぞお求めを願ひ度うございます 主人『此の土地にも同業者も數多ございますから決してお懸け値は申しません』 二百五十兩にいたして置きまする』是を聞いて又藏は驚きました。

◎鴨綠江材況
解氷後好況ならん

◆採木公司 に就きて客月中に於ける鴨綠江材狀況を聞くに同月は結氷中にて元より著しく從來の持越材の輸出は支那側九萬五千九百九十九連朝鮮側二千二百五十連にて江材現在高は紅松杉松落葉松合計九十七萬七千百二十連價格二百七十九萬五千八百二十五圓にして內同公司材取引濟一萬八五百連取引未濟六萬二千三百零一十二萬七千二百二に四連取引未濟四十六萬九千九十五連なるが但し右在荷高九十七萬七千百二十連中には二十八萬五千連の小丸太前柱材等あるを以て角材は差引約六十九萬二千百二十連なりミ云ふ而して同月中

◆木材相場 は原木に於て紅松二分八杉二分一落葉松三分製材に於て紅松一六分杉松一三分落葉松一八分板に於ては紅松一八杉松二分四七落葉松三分二にして右相場原木は二千寸見當にて一寸の建値製材は尺締當り板は並物一五分一坪の建値なり兎角同月中木材市況の大勢は結氷中の事ミて刮目す可き取引なかりしも尙相當の直行きを見今日の大勢より推せば他の諸物價ミ異なり急激に低落す可きものミ認め難く一般的に各市場は木材品薄の聲高く且つ建築材料の下落は

◆一層建築 の增加傾向ありて將來木材需用は益、繁忙を極むべく可き見込なるのみならず一面營林廠山元は何れも勞銀高の爲め本年出廻りの意の如くならざる模樣なれば目下保合の姿なるも解氷後の木材市況は再び好況を呈す可しミ

三月五日 (舊二月四日) 金曜 ひのえたつ(丙辰) ▲八白 ▲大安 ▲[illegible] みつ

▼八白▲骨折り甲斐のなき日なり
▼九紫▲眞實のこもる日にて嬉しく愉快なる日何事に用ゐても吉也
▼一白▲張り合ひ拔けのする日也
▼二黑▲親しみの籠もる日にして思ひ立ちたることは行うて吉なり
▼三碧▲思ふ樣に物事の行かぬ日
▼四綠▲默つて寢すに若かざる日
▼五黃▲心中何こなく愉快なる日思ひ立ちたる事は決行して吉なり
▼六白▲幸福の降りかゝる如き日起業移轉旅行婚姻棟上金件等吉也
▼七赤▲好都合に物事の運ぶ日なれば萬のことに用ゐて一切吉なり

商業登記公告
株式會社朝鮮殖產銀行春川支店登記事項變更
大正八年貳月拾參日[illegible]
右大正八年貳月拾[illegible]日登記
京城地方法院春川支廳

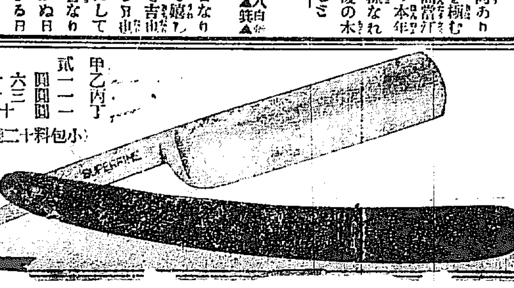
謝近火御見舞
京城南米倉町
蛇目鑛業所
蛇目萬次郎
電話長九三〇番 二八〇八番

本朝近火の節は早々御馳付被下奉深謝候混雜中御尊名伺洩れも可有之不取敢以紙上御禮申上候
三月三日
相澤工務所
相澤啓治

春の風引には

[illegible]の特約店にて販賣す

産婆看護婦生徒募集 (規則書要郵券二錢)
福岡市外水茶屋町
福岡產婆養成所

切味保證
西洋かみそり


甲乙丙丁
貳圓 一圓 一圓 一圓
六十錢 三十錢 十錢 十錢
(小包料十二錢)
發賣元 京城大和通り 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

仁丹 昨年一ケ年の賣上五百萬圓を超ゆ

之れ實に仁丹が現代唯一の懐中常備薬として内外各位の絶大なる信頼と好評を博しつゝある最も顯著なる證左なり

金言

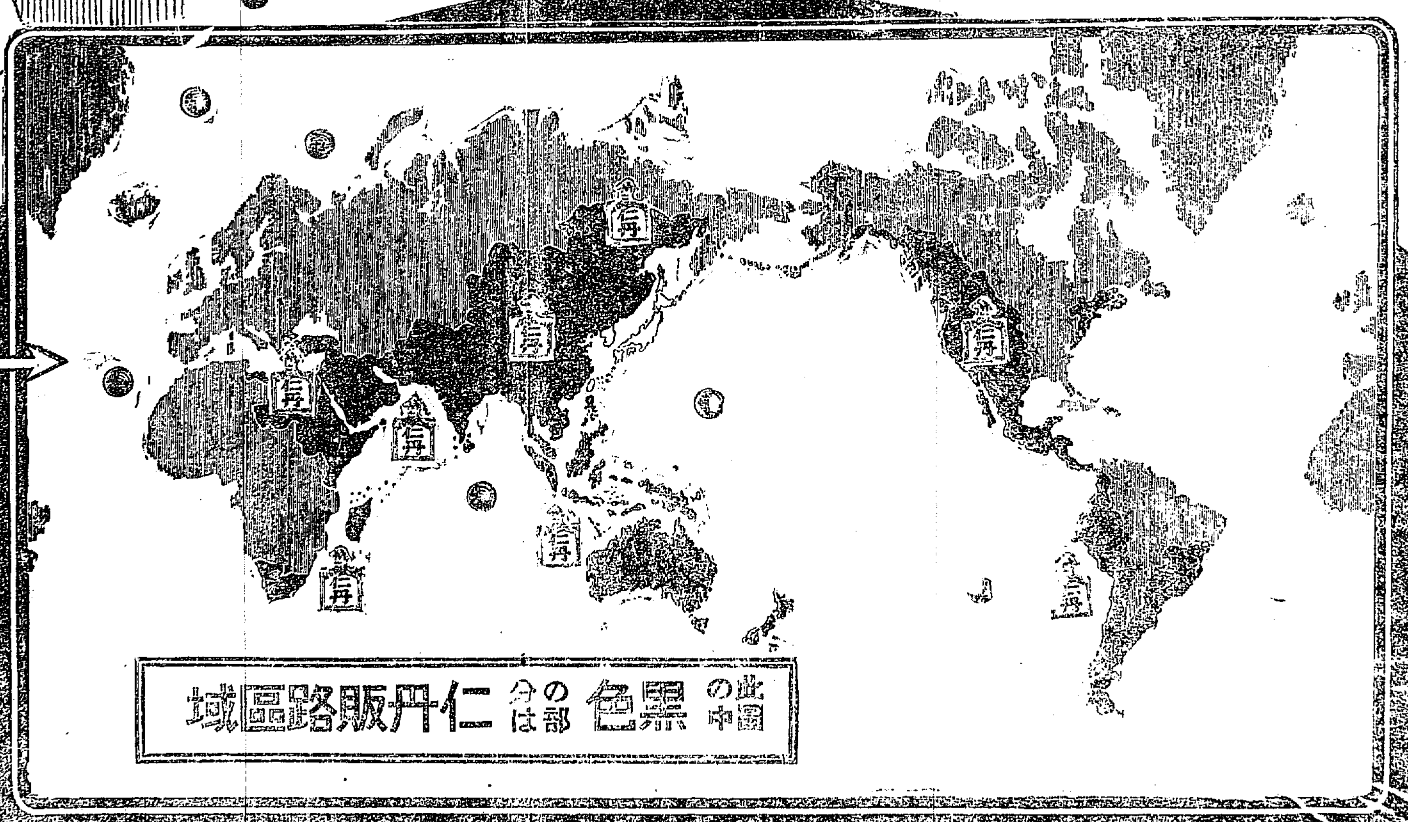
汝の善良なる商品を以て世界の市場を賑はせ

ロスチヤイルド

仁丹買方

▲名所カード 金言容器 付（二貼半入）二十錢
▲懐中容器付（三貼半入）三十錢
▲四季容器付（七貼入）五十錢
▲ツブ形 容器付（七貼入）五十錢
▲桐箱入（十七貼入）一圓

世界に於ける……
仁丹の分布



京城日報　第五版

京城日報　米價の崩落

兩三日以來、各地市場に於ける米價は、非常の勢を以て崩落し初めたり。是歐洲戰爭終結と共に一般の物價が漸く戰時狀態を脫し追々平常に復せんとする大勢を醞致したるに依り、獨り米價のみ特別の高値を維持すべき理由なきこと明白なるのみならず。殊て政府の努力せる西貢蘭貢及び長江沿岸の產米が、輸入可能の確實なる情報に接したることなど落大なる影響を與へたるに相違なし。非上時中無前の昂騰を示したる福運が平和復歸と共に大暴落を來したる等、諸種の原由の釋ぬべきものありと雖も、吾人は更により大なる原因の、眼前脚跟下に存在するを想はざる能はず。

其は他なし、由來內地市場に於いて唱へられたる食料米不足七八百萬石といへることは、餘りに强き鉛言にして、實際それほど大なるものにあらず、但し市場剛米の從來餘り豐富ならざりしことは、事實に明進なしと雖も、其の原因は昨年來突飛に亂暴の高値を現はしたるために、農家の懐は時ならぬ温かさを感じたるために、持米の賣急ぎを爲すの必要に迫らざるの値段を期待し、飽まで賣惜みを爲したるの結果に出でたるものと推定するを得べし。若然らずして眞に七八百萬石の不足なりとせんか、明治以來大正四五年にかけ、歐戰以來飛然として不足を告げたるものこせざるべからず、足れ極めて不合理のことにして、吾人の首肯能はざる所なり。唯其れ歐戰以來貿易の□潮なると、各種工業の勃興等に伴ひ、下層社會の懐合ふ好かりしがために、自然食料に對し擇を來したるは掩ふべからざるのことなりと雖も、之がため俄然として七八百萬石の不足を來すといふとは有り得べからざることなりとす、要するに今日內地に於ける貯藏米は決して世上に唱ふるほど缺乏せるにあらず、若し精密に正味を調査するの手段あらば、或は殆米不足を訴ふるの必要なきやも知れず。かゝる狀態、追々暴露するに從ひ、流石に市場に暴威を振ひたる買方の陣立か、其一角より崩れ始めたるは是れ自然の趨勢にして何等異とするに足らず。

各地より追々到達する情報を綜合するに、何處にても賣方は氣を並べて討死の態にして、正に友軍の來れるを報じつゝあり。吾人は如何なる程度まで低落するやを豫言し得ずと雖も、いづれ多くの波瀾を免れ得ざるべし。而も之がため恐慌を來すが如き暴落を演ぜざることは亦之を豫想し得。要するに現在の崩落は、大勢に順歸する當然の成行きとして承認すべきなり。

我國と近代思潮(二)

(本社主催講演會に於て)　長瀧智大師講演

神は人類を幸福ならしむべく世界を造つたとすれば何處か世界の中心なるものが無くてはならぬ。ノッペラボーの頭も尻尾も分らぬものは神が人間に對して斯う云ふ設計は出來ないではないか、夫では世界の中心點は一體何處であるか、神は何處を中心點として世界を造り人類の幸福を圖らしむることにしたであらうかと云ふことになる。即ち世界が出來た後に現はれた所の、消ゆたりする普通の國ではなく神は世界を創造すると同時に世界の心棒として世界中の國を纒めると云ふ尊い天職を持つた國を揃へて置かう、と斯う云ふ手順で世界を造つたに違ひない。さうすると此の國は他の國々とは其成立の根本に於て多大の差異のあるのは云ふ迄もない。世界の始末をする國、世界の文明を導くべき國、人類の總てに平等の幸福を授けてやる國と云ふものが無くてはならぬ。今日の世の中は人間が理窟を捏ねる樣になつたから即ち文明になつたから此事に就て特に論じなければならぬのである。成る程世界の文明は進んだ、併し其結果何れ程人間の幸福が増進せられたであらうか、人間が自分の都合に添へた文明を以て互に喧嘩をやつて居るではないか、樣々の文明の力を利用し惡用して自分が世界で覇を稱へやうとの慾心を起し且つ夫を實現せんと努めつゝある、這回の歐洲大戰亂も世が是程文明でなかつたならば斯く迄に大裂裂なものにはならなかつたであらう、三十年戰爭、百年戰爭と云つた所で其範圍は全世界に亘つては居なかつた、要するに今日の文明は戰爭を以て自分の慾望を充さんが爲めのものだと云ふ結論になつて仕舞ふ、誠に有り難い樣な有り難くない樣な持つたい樣な難い樣な文明になつて仕舞つたのである。人文即ち武力の人間の文明と云ふものが果して斯の如きものであらうか、都合のよい處だけ文明で都合の惡い處は全で飲、畜生、文明も何もあつたものではない。今日の文明の人を爲獸であると云ふものは文明の皮を被つて西米利加のウイルソン氏が名乘りを上げて出て人道主義や何か振り廻し國際聯盟と云ふ樣なものゝ容に中張した、夫れは固より結構なことだと云つて日本政府も賛成を表した、世界何れの國も表向き人道は嫌いだとは云はない、國際聯盟も何うなり斯うなり出來ることゝはなつたが巴里の講和會議で大戰亂の跡始末がすつかり片付き國際聯盟に依つて世界は今後に於て永久平和を保障せられ得るかと云へば何うも其の點は斷言し兼る。何故なれば世界あつて後に出來た國々が寄合つて相談して拵へたものだからである。都合に依つては何時違を破る者があるか知れないからである。歐洲大戰亂の前と雖も國際間には條約もあつたが獨逸は夫れを無視した上何ほ無茶苦茶な亂暴を行つたから未曾有の大戰爭になつたのではないか、だから今後とても矢張り世界の絕對平和を期待することは不可能である。

財界の新舊人(48)

西海生

中野深君

京管建設係主任

鐵道の工務課に於ける最も花やかな仕事は新線の建設である、改良線や改良と異つて何しろ新に鐵路を延ばして行くのであるから殊に目に立つ、その方の擔任者は中野深君であり、元山清津城津の三建設事務所を統てゐる。

▲中野君は山田龜二君と共に京管技術家中の花役者である、唯頭腦に於て中野君は山田君の弟分だと云つてゐる人もある、然し乍ら君は山田君の如き夜肉家でなく、嶋渡アラの目立たぬ紳士である、山田君より二年、石川鼎三君より一年後なる三十七年、東京帝大の土科を優秀の成績にて卒業、同時に銀時計拜受の光榮を荷つた秀才である

▲技師としては立派な人らしい、殊に山田君と共に鴨綠江の長橋を架した經驗あり、その後歐米に出張し、主として鐵橋の方の研究を重ねて來たといふから、此方の智識では君に比肩し得る者は鮮鮮にゐるない、現に漢江の人道鐵橋架設の如き、土木局某々技師の設計は之れを嘲詆されて案を立てた中野君の設計に比し、可なり等差があつたさうで、東局君は總督府技師を兼ね漢江の長橋を竣成さした、此の一例は君の技術の凡ならざるを語つてゐる

▲若々しい血色の好いよく肥つた人、何か式なきにフチのない眼鏡を光らし縦帽で押し出す所を見れば堂々たる風采を具へてゐる、諸事眞面目な性質で自信力は可なり強い、一寸した事にも仲々論じ立てねば承知の出來ぬと云つた風の人である、新線の建設をやつてゐるのは、今の所元山清津間の北鮮縦貫線ばかりだが、更に鎮海昌原線も今年は着手するであらうし、多年の問題たる平元線の敷設も近く事實となつて來よう、君のすぐれた手腕に俟つべき新線の工事は未だ餘程多い

久門雄次君

京管清津建設事務所長

清津の建設事務所長をしてゐる久門雄次君も、實際的の技術家としては、京管局に逸すべからざる人である、君は坂出勅任技師と同期の三十二年東京工科大學出身、若くして全く禿頭となつたため、著しく老けて見ゆるが、未だ四十歲である、頭の悶いやうに、すべて久保局長式の鬪滿主義を持せる人、製圖上の手腕に於て君は局內の首位に立つてゐる

▲君は湖南線北半部の建設當局者として南鮮方面には餘程聞えた人だ、湖南線も、井邑あたりから木浦までの南半は、殆んど比較線等の問題も出でなんだが、その上半部たる江景金堤間は全州平野中に三線からの比較線が起り、君もその取捨に大いに迷つたものだ、而も技術上の見地より現在の經過線を確定するや、他の二線の希望地方に對しては情理剴切を盡せりの書信を出し、その諒察を求め、線路の經過を得ずして反つて君の人氣がそれらの土地に上つたと云ふ話しもある

句辯(下)

鳥堂

許夢非生賞下
寒の吉里人に補樹潺ハ乾き　河岐良

この句は次の浮碧樓の鯨の句と共に、譯の別らない句例に取出されたものである(二百頭刊參照)

夫は兎も角、此句に現はれた如き纖細な、生活の深み潜んでゐる趣味は、趣味生活に慣れ據するもののみにめぐまる、神の御食で、讀者がりをしか持たない、皮相で事を足してゐる勝の吾等には、所うして見せて貰つた丈でも、佛樣の護光に浴す悦がある。寂びからの晴れた、夫である何處かに低く導いてゐる天地の構成は、人を壓伏するもしい天地の構成は、人を壓伏する相互に相依り、相親しむ心もとなさを感ぜさせる。寒の吉里人の懐しさが作者の胸に迫つて來る。而して彼の春戶口にあつたあの補の樹が、其當時には無關心の眼に影を映して居た位のの補の樹が、こ思へば其樹梢の乾いた離愁を今の身に喚る。斯るが作者の此句を生み出すことの心境である。遊歷者の吉里人に補の樹梢の乾きを見た離愁を今の身に喚る。斯るが作者の此句を生み出すことであらうと思ふことか、懐しくも又憫ましくもあるのである。

ひこりものごうでも眞面目で鯨の海が見ゐこる　浮碧樓

私は此句に對して立派派のする質樸な技巧がいかにも安々と取入られてゐるこの感を禁じない。

「ひこりものごうでも眞面目で」の續きあひは之を一鎖の文章として說明されないではないけれども、此間に理路を見出すといふことが努力に對して氣の毒に思へてならぬ。ひこりもの、ごうでも、眞面目、こゝ二者夫々に獨立して、夫が融ろけ合つて、さて描き出された人物は鯨でも漁れようといふ多海の果てもない荒涼に對してゐる。見ようとはしないが、眼に映じ來るものを試はふでもない。そこには鯨の柔順性までが融け合つて、天命と默契するおち着を見せてゐる。作者の人格、詩性にまでつかしさが、しみじみとよい涙を……

五色饅頭

劍花坊

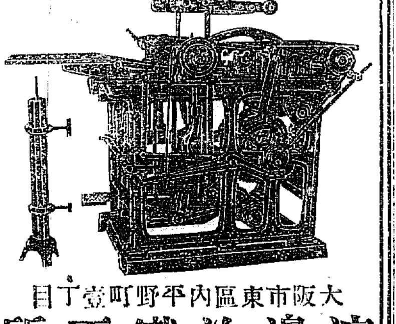
前句附の選者は川柳ばかりでなく、當時の俳人で、宗匠株の者がこれに當つてゐたが、川柳ほど選者としての眼識を備へてゐる者は無かつた、何萬と集まつて來る中から二三百位拔く位だから、なか／＼面白い句が有つた、この前句附を川柳點と稱し、さう／＼柳の點をした者で無い物も、類似の物は恐く川柳點といふのは前句附の名に冠つた川柳點を略して川柳と云たのが今日迄殘つた川柳の起源である。それが寶曆、明和、安永、天明とつづいたが、川柳が死んで、二代目川柳、三代目川柳が前句附の選者を續け、四代目の川柳が自分から元祖になりたい爲に狂句と名づけ、前句附から獨立しのは好いが、矢張、淺薄な言葉の洒落、文字の拔巧見るに堪へないものとした、而して五世六世七世八世九世と文化、文政、天保、弘化から明治までつゞき、現に狂句の宗匠として十世川柳といふのが淺草に旗様を守つてゐる。

本紙定價 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 [illegible]

[illegible] 綿布の [illegible] しき進行を [illegible] 綿布 [illegible] 本年 [illegible] 年上半期十萬四千三百四十 [illegible] 六 [illegible] 至七月頃迄の [illegible] 輸入を爲せるものなれば支那 [illegible] 六箇月間 [illegible] 下半期 [illegible] 計算に依れ [illegible] 其の [illegible] を維持し結局(俵四百斤建)見當と推せられたれ之等の多くは新棉約定品にして [illegible] 一月中頃の紡績手持約十五萬俵支持し得べきも印棉代用として十四手乃至十六手に多く使用さる [illegible] 間而かも [illegible] 增しからんとするものあれば印棉の [illegible] 維持するに過ぎずして印棉の手當 [illegible] 不足は依然たり然して今後本邦紡績の印棉所要量に就ては當業者の見解區々にして而も三十萬表以上の買付けを必要なりとせば本年度の [illegible] 本邦の今後必要額は先づ三十萬乃至四十萬俵と見當と推定するもの多 [illegible] 十二萬俵を見積るもの)を買付する [illegible] 可からずとの說あり未だ斷定的の [illegible] 十萬俵 [illegible] 期の推 [illegible] 今後六十萬俵の [illegible] 推算されたり以上は平均上よわせる觀察にして原棉手當事情は會社に依り著しき異同あるは云を要せざるべし(大阪)

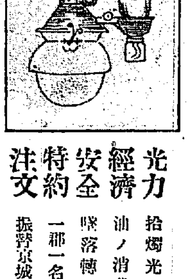
農家副業界の新權威
明治大正 內閣總理大臣 大日本農會總裁大勳位伏見宮殿下並各宮殿下台覽
宮內大臣波多野敬直外七大臣閣下並諸大家閱序
前現內閣總理大臣及各大臣外三百餘名大家台覽
內務省主催盟栗栽培及阿片製造講習會專任講師　一反長音藏著
改訂増補 罌粟栽培阿片製造法 全
定價 壹圓八拾錢 送料拾貳錢
阿片ハ他ノ藥草ト異リ政府ノ專賣品シテ需要多ク賣込先ノ心配無キノミナラズ今回ノ改正率ニ依レバ納前年ノ貳倍半ニ値上ゲセラレタレバ收益ノ實ニ多大ナリ阿片製造業ハ近頃誇大ノ廣告ヲ爲セル他ノ藥草栽培ト類ヲ異ニシ國家的生産事業ナリ(照會要六錢郵券添)
大阪府三島郡福井村大字福井
大日本罌粟栽培阿片製造奬勵會
振替貯金口座大阪三三三五八番

△繩叺、莚
△叺 蓑、笠、柿澁 其他各種繩叺 手繰各種取寄 土工用諸品
京城龍山三角地
陸軍用達 荒物問屋 金川商會
電話六四八番

活版印刷機

大阪市東區內平野町壹丁目
渡邊鐵工所
電話東三四九六番

上等口付卷煙草

金剛は敷島の姉妹煙として新製し愛煙家の座右に供せらる
如何に品質の優良なるかを!!
御試喫あれ……
二十本入定價十錢
東亞煙草株式會社

山田式
下向ランプ
壹個金貳圓 送料貳拾錢

光力 拾燭光以上電燈ノ如キ感アリ
經濟 油ノ消費量舊式ニ比シ五割減
安全 墜落傾覆スルモ火災ノ虞ナシ
特約 一郡一名限リ特約販賣店ヲ募集ス
注文 振替京城五二九九番へ前金御拂込ノ事

▲蠶具 ▲蠶種
京城府龍山驛前
東亞蠶糸株式會社京城支店
養蠶 製種 製絲 鏡檢用各種
交配白繭種 交配黃繭種 又昔 青熟 白龍

開業廣告
本社 神戶市播磨町十七番地
支店 大阪、東京、倫敦、巴里、羅馬、ベルン、ホーセツト、紐育、桑港、西土尼、スーラバヤ、ベノスアイレス、孟買、甲谷陀、蘭貢、西貢、新嘉坡、香港、上海、漢口、天津、奉天、ハルピン、浦鹽
出張所
營業科目 滿洲特產物綿絲布及綿製品 金物及油類、染料、及藥品 罐詰及海產物、砂糖及アルコール 木材及石炭、其他雜貨一般
大連市明石町百番地
久原商事株式會社 大連出張所
電話長五六七番
受信略號 タイレンクハラ

開業廣告
安東縣三番通り五丁目一番地
鐵道貨物海陸運送業
三河運輸公司
電話二一八番 略號 マル三
右運送業開業致候間多少に不拘御用命の程伏て奉願上候

新聞入札購買
逓信局
一、デルピル電話機外六点
詳細三月四日ノ本官報ニ在リ

宮內省御買上 高級製繩機
報德式製繩機は斷然こして群を拔ける日本唯一の製繩機なり
◆完全比類なき一品の御製造は天下一品の御利益
◆生產能率他機の二倍以上は極めて容易なり
特約店募集 定價表及說明書進呈

大阪南堀江日吉橋北詰 報德商會

四日より提供
松之助扇太郎大車輪
里見八犬士
長田幹彥氏傑作
新機軸大撮影
新派悲劇 夕潮
憐むべき倫落の女優 失戀青年の慘なる末路……お絹氏雄の夕潮に輝く笑顏は何事を物語るか
米國マジステック會社作 人情活劇 天使
大正館

京日案內
普通七行一回(…)前金(…)
[illegible]
◎桐材木賣却 約一萬才 但し立木乃儘 元山本町三丁目 藤井商店

寫眞技師 及助手 門生 至急數名入用 希望者履歷書送れ
滿洲長春 徐阪寫眞館

乳母又は保姆 多少教育ある年齡三十才前後の者一名雇入たし本人來談 京城南山町二丁目 白上

◎鮮語科 ◎英語科 三ケ月速成 朝鮮人 外人 各二名教師 募集 京城南大門通漢城銀行向 青年會

事務員採用 地方出張所にて年齡三十歲以上素養ある溫厚の者自筆履歷書左記へ御送付ありたし 京城日報社內 大島

ほねつき 整骨 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場

恩給立替 恩給年金 低利金立替 御渡し致します 地方は規定書送呈す 京城府若草町郵便ポスト前入 電話三〇〇番 西村商會

恩給年金 低利立替 の處理解決 昨年來出張所不在中の處 京城吉野町入口 山口屋

◇米國大統領 國際聯盟說明

新育府特派員來電＝ウィルソン氏は二月二十六日兩院外交委員を白亞館に招き國際聯盟に關する一般的說明を爲し後議員の質問に對し左の如く答へたりと尙ほ質問は政府黨側に多く共和黨側は多く沈默せざりし由(東京特電)

一、米國にして加入せざれば聯盟は破れ歐洲は混亂狀態に陷るべし

二、武裝制限は兵士の訓練を妨げ得ず武器の制限だに實行さるれば訓練ある軍隊の存在は平和に關係無し

三、聯盟各國は多少國家主權の讓歩を爲さゞる可らず何等かの犧牲を拂はずして完全なる調和を保ち世界の平和を維持する事は望み難し

四、聯盟案中執行委員會に平和を脅かすべき行爲を講究するの機能を與ふる條文は稍曖昧なるを以て右執行委員會の決定は全會一致たるを要する旨の規定を挿入するの要あるべし

五、執行委員會の決定並反對强制に關する規定は右違反者が領土其他財産權を占有し之が拋棄を肯ぜざる場合にのみ其適用を見るべし

六、聯盟は英米佛伊日五大國の親交を以て骨子とす五大國に重大紛爭あるべしとは想像し難し從つて五大國中一國にても聯盟より脫退せば聯盟は當然破るべし

七、亞米利加移民問題は國內の事にて聯盟に持出さるゝ事無からん

八、立國は執行委員會にて二個以上の票決權を有する事無かるべし

九、モンロー主義は損はるゝ事無し聯盟は此主義を世界に擴張するものなり

一〇、戰爭の絕對防止は如何なる方法に依るも不可能なり唯聯盟は戰爭の機會を減少せしむるのみ

一一、聯盟案は十四ケ國の一致贊成せるものなれば之れを變更する事は極めて困難なり

◇對獨軍事條件

講和會議公報＝五大國委員會に於てフオッシュ元帥は敵國に課す可き軍事條件に關し聯合國最高軍事會議に於て採擇せる軍事委員の報告を提出せり(巴里電報)

◇對支態度決定か

上海に於る和平會議は北方總代表の辭職となり事態重大となれるより內田外相は三日外務省に重要會議を開き其提案を實し同日原首相と協議の上四日の閣議に於て對支態度を決定す可しと傳へらる(東京特電)

◇廿師團 朝鮮に新設

朝鮮第二十師團の編成は目下岡山第十七師團にて爲しつゝあるが愈々來る四月一日同司令部を龍山に開設し現在龍山に在る第十九師團司令部は羅南に移轉する筈にて同時に步兵第三十九第四十旅團は新設第二十師團管下に於て編成され同師團管下の特科隊は一部を龍山に置くべく右特科隊及び第十九師團管下の步兵二個聯隊は數年後に於て完成する豫定にて兩師團共教育の關係上輜重隊は設置せられざる由(東京特電)

◇國葬遙拜式

高橋內閣書記官長以下國葬儀掛は三日午前十時より內閣會議室に參集國葬遙拜式を行へり(東京特電)

◎勅使一行歸東

國葬參列のため入城中の勅使日根野侍從皇后宮御使三室戶主事宮內事務官木村英俊氏等は四日朝南大門驛發歸東すべし

◎野田遞相出發

鮮滿視察中の遞信大臣野田卯太郎氏は榮山監察官榮山參事官帶同四日午前八時四十分南大門驛發列車にて直路歸東す

◎國際聯盟前途 樂觀を許さず

▲所謂五大强國 の間に於て決定せられたる國際聯盟の草案に對しては各國共に種々なる反對意見が續々として現はれつゝあるやうである而して日本に於ても或は軍備制限の問題に於て或は人種差別の問題に於て或は又勞働問題に於て色々反對論があるが如くに伊太利にも佛蘭西にも夫々自國の立場よりして或は世界永久の平和を確保せんとする點よりして到底該草案を以て滿足すべからずとなし大いに之に修正を加へなければならぬと主張するものが日を逐うて增加して來る然し今日の所何と云つても英米兩國の勢力が頗る拔けて偉大である爲めに五大强國以外の小弱國は勿論佛伊日三國の實力を以てしても事實上殆んど

▲聯盟組織の事 には殆ど勢力を認められない狀況にあるので米國大統領ウィルソン氏の主張と英國首相ロイドヂョージ氏の意見とが或程度の妥協を遂げて此に表現せられ佛伊日の委員等は全然之に從ひしたと云ふ形となつて居る從つて英米兩國に於て大なる反對の起らぬ限りは該草案は大體現形を以て講和會議を通過することゝなるであらうと思はれる元より日本の立場としては種々遺憾なる點はあるが國際聯盟そのものゝ成立せんことに對しては初めより反對すべき道理がないから所謂良いものには卷かれて苟くも正義人道に背かざる限りに於て英米の主張に贊同するの外止むを得ざる次第であらうと思はれる勿論機會の乘ず可きものあらば飽迄我主張を貫徹せしむることは當然であるから吾々國際聯盟をして出來得るだけ完全なものにするために

▲凡有る機會 を捉ふることに努力せねばならぬ然るに好機正に到來でも云ふのであらうか肝心の米國に於て近頃該草案に關する反對熱が意外に昂まり同國議會はウ氏の歸來と同時に稍激烈なる反對氣勢を示すに至つた即ち其反對論の焦點とも解すべきは英國は植民地代表者をも合せて五名の代表者を國際聯盟に出し得るに反し米國は唯一人であると云ふ事米國のモンロー主義を破壞するものであるといふことゝ並に米國憲法に抵觸するものであるといふことゝ等で要するに英國の利益を餘りに過重したるものであるといふので或る更に上院外交委員會の權限を制限する點に關しては最も重大なる問題として共和黨の大反對あるは勿論民主黨內にも少からず不平があるやうであるから現下の情勢にては同國議會が

▲該草案を其儘 承認せんことは到底覺束なかるべく勢ひ多少の修正を加へられることゝなるであらう加之米國上院には愛蘭との關係よりして英國に對し完全なる好意を表し難き事情なきにしもあらずであるから旁聯盟案の前途は樂觀を許さざるものがあると云はねばならぬ而して萬一英米國に不利のことゝもあらんか國際聯盟は事實上瓦解同樣となるか或は却つて完全の域に近寄ることゝなるか何れにせよ尙多くの波瀾は免れ難いのである(某外交通談)

◎西伯利金融機關と河川航業

▲西伯利 に於ける金融機關就中銀行は從來其數極めて少く東部西伯利に於ては露亞銀行西伯利商業銀行ウオルガ商業銀行及びペトログラード銀行支店西部西伯利に於ては右の外露國外國貿易銀行、ペトログラード商業銀行支店あり然れども其少數なる代りに營業の範圍極めて廣く單に金融のみならず現物をも取扱ひ居れり從つて其收益も多く西伯利商業銀行の如きは昨年度の配當の如きは六割に達せりと

▲然るに 革命以來商工業不振のため殆んど企業資金の必要なく銀行業務は激減して取扱ひ得る物も減少し甚だしく業務の閑散を來せり銀行は本年二月實施された銀行國有法により營業上の金融機關たるの實質を失ひ或者は行員の執務拒絕のため閉店し或者は漸く募集し得たる行員を以て國立銀行式に一週一日又は二日營業するの狀態にあり今次の改變後は臨時西伯利政府は勞農政府の法律命令を認めざる事とせる結果過激派時代に國有となりたる企業財產は自然所有者に還附せらるゝ事となりしが今次私立銀行にて業務を開始したるものは早當らず

▲右私立 銀行が業務開始に當り困難とする處は中央財政機關の[illegible]逃亡の際攜帶し行金の補給困難なる事なり又右銀行は何れも[illegible]中央機關となさざれば獨立して業務[illegible]を營む事困難なり六月十六日オムスクに於ける商工業者の會議は商業補助の機關たる銀行及び其他金融機關を失ひ資金を得るの道なければ目下農民は多額の遊金を所有し居れば其信用を得るの道を講じ之が預入を勸誘し以て預金を吸用する旨を決議せり然れども一般人民は最近に於ける貯金を失へる苦しき經驗あるを以て再び貯金預入を爲す程度に銀行を信用するに至るか否かは頗る疑問にして少くとも秩序回復し政局の前途に對して安心し商工業の如きもの自由なる信用が充分に確實なりといふ事を認むるに非ずんば實施し難しと言はざる可らず

▲船舶業 西部西伯利に於ける河川は鐵道を補助し河流經濟をなす[illegible]航業は近年稍發達しつゝあり殊に戰時河過貨物及び地方移出貨物の增加の爲め益々好況に向ひたるが革命發生以來從業員の要求過大となり一般商工業の衰微と共に輸送貨物も減少し過激派の船舶國有法の爲めに船舶は沒收せられ航業は從業員の經營に移り運賃は三倍餘の引上げをなしたるも其經營無能にして旅客定期船の發著は現在船の來著後に非ざれば知り難く減少せる輸送貨物も停滯勝ちなる狀況なりしが今次の政變に際し各地勞兵會員等は船舶を運び之にて逃亡したる爲め政變後河川船舶は商工委員會の管理に移したるも相當の航行をなす能はず

◆日支學生懇話會

日支兩國の學生懇話會の斡旋に依りて生れたる日支學生懇話會は二月廿一日北京大學に於て開催されたる會合には船津公使、[illegible]書記官、中山、西田兩參贊を始め北京大學より蔡元培校長以下多數出席各氏得意の日支兩國語を以て交る交るの講演を爲し頗る盛會なりき寫眞は當日の光景にして×印は[illegible]○印蔡氏

大阪財界便り

本邦海運界は戰時中、空前の黃金時代を實現せるが昨秋歐戰終熄するや運に悲境に陷り殆んど收拾すべからざる混亂の狀を呈して居る併し刻下の不況は單に一時的反動現象に過ぎずして現在の悲境が永久に持續すべきものに非ざるべし而して講和條約の締結と共に愈世界的航權爭奪戰の實現を見るべく、此際將來に於ける我が海運助長の方策を講ずるは蓋し刻下の急務たる可きなり、右に關し大阪商業會議所の發表せる意見を摘記すれば左の通りである

▲航路補助改正 現行遠洋航路補助法は明治四十二年の制定にして從前航路獎勵法に代りたるものにて是素より我國海外貿易振作上主要航路の定期航海を發達せしむる趣意に出でたるものであるも然るに時勢の進運に伴ひ定期航路は何れも皆相當の利益を擧げ就航汽船會社は補助金を受けずとも獨立經營に何等支障なきに至つた而して現今に於ける補助金は單に運賃制限の目的にて下附せられ居るが如き觀があつて本來の趣旨を沒却して居るの嫌ひがある、併し公平に觀測すれば該法は從來經營しつゝありし定期船が經濟的事業により出資の減少を來すか將は外國會社競爭の壓迫により航の悲運に會せんとする場合に於て之を補助し其の經營を繼續せしむるが爲に設定されたるものなるを以て該法を將來存續するものとせば之を擴充して外船に對しても定期開航に對しては同一の保護を加へらるべきものと思惟される、若し夫航路補助法にして既定の通り廢止せらるゝものとせば船舶業者一般に均霑し得べき遠航獎勵法に適當の改正を加へて之を復活し以て有事の際充分の船腹を平時に於て維持し得るの途を講ずるの必要がある

▲造船獎勵延長 造船業の發展を圖るは國家當然の義務である、之が永續的發展の基礎を確立せんには政府の保護に待たねばならぬ、我が造船界の今日あるは一に保護政策の賜であつて殊に製鋼材料の供給に困難を感ずる我が造船業者は政府の保護を受くるに非ざれば到底外國同業者に對抗し其存立を全うし得ない、然るに戰時中、造船獎勵金の交附を中止したる儘未だその復活の模樣なきのみならず世上往々造船獎勵制度廢止說を唱道する向勘くないが、本邦造船業の隆興は歐洲戰爭の影響に基因する一時的變態であるから斯る現象を根據として獎勵金交付を中絕し又は該制度の廢止を云爲するが如きは當を得ざる論議である、寧ろ戰後の對策として速かに獎勵金交付制度を復活し該制度の存續期間を延長して船主並に造船所側の利便を計る必要がある

▲船舶金融機關 本邦に完全なる船舶金融機關の缺如し居れるは當業者の夙に痛苦を感ぜる處にして是が整備は蓋し刻下の急務である、從來本邦船主が資金の融通を得んとするには自己所有の船舶を擔保として求むるの外なく而も船舶抵當貸附けは一般に危險視せられ普通銀行は殆ど之を行はず僅かに少數の海上保險會社及び[illegible]特殊の關係を有する少數の個人又は其主宰せる銀行に於てのみ之を行ひつゝあつたのであるが、其金利々率、期限等凡て借主には極めて不利の條件の下に行はれたから隨つて資金の供給も圓滑でなかつた、殊に昨今の如き不況時代には殆ど金融杜絕の姿であるから本邦海運界の發展を阻害するのみならず却つて海運市場を益々惡化せしむるの嫌ひがある、故に戰後に於ける海運界の健全なる發達を期せんとせば海事金融を主たる目的とする特殊金融機關を設置し當業者の金融を圓滑ならしめ對外競爭の自在を圖るは刻下の緊急事である(大阪)

◎最近牛價の變動と影響 飼育頭數著しく增加す

最近の牛價は昂騰に昂騰を重ね底止する所を知らざるの狀況にあり最近五年間に於ける價格に付當局の調査を聞くに左の如し

道名	三年	四年	五年	六年	七年
京畿	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
以上七道平均	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
黃海	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
江原	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
咸南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
咸北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
以上六道平均	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全半島平均	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲變動の原因 大正三年は一般金融に逼迫し諸物價下落せしに依り(咸北は此の外稀有の洪水に遭遇す)各農家其の畜牛を放賣する者多きに反し購買する者少く[illegible]

▲變動の影響 以上の如き牛價の變動が畜牛界に及ぼせる影響如何を見るに左の如し

(イ)好影響としては(一)飼育頭數を增加せり(二)飼養管理に留意する者多きに至り(三)受託牛希望者を增加せり(四)種牡牛の選定に留意する者多く從つて優良牛を飼養する者多し(五)生産率を增加せり(六)屠殺牛減少し屠豚數增加せり(七)從來は幼牛を賣却する者ありしも漸次分娩を待つて賣却するに至れり(八)殖牛契に依り入牛を增加せり

(ロ)惡影響としては(一)小農家は牛上に支障を來すに至れり(二)殖牛契の事業を頓挫せしむること、なれり(三)優良牛の轉出を增加し又は其數を減少す(四)放賣增加の結果は代償牛を得るに困難なり

◎古賀長官出發

拓殖局長官古賀廉造博士は四日午前八時四十分南大門驛發列車にて遞信大臣と同行直行歸東す

烏瞰錄

西伯利出征の第十二師團の一枝隊はアレキセーフスク附近で我軍西伯利出征以來の大激戰をやつて大いに九州男子の腕ッ節を見せて居る▲激戰も一通りではなかつたらしい其の衝に當つた田中少佐の引率する大分步兵第七十二聯隊第三大隊では田中枝隊長は行方不明戰死傷者二百名を出し殆んど全滅の姿となつて居る▲其れのみならず枝隊と共に激戰をやつた西川大尉の引率する北方野戰砲兵第十二聯隊の獨立中隊第二小隊も同じく西川大尉佐々木小隊長を始め定員三十二名中三十名戰死！▲詳報が來ないから未だ充分判らぬ一戰鬪は二月二十六日から三月一日迄實に四日間に亘つて繼續したらしい▲敵は無論過激派の殘類で我兵數に比して十倍乃至十五倍と云ふ大多數であつて從つて其の損害も多大なものであつた事は想像に難からざる次第である▲さりながら我軍が敵陣地を占領した際には百餘の死屍を遺棄してあつた事から見ても判る▲敵は恐らくアラゴエチエンスクの首領であつたムーヒン一派に相違ない彼等は我が豫後備兵の凱旋に際し騷動を始め▲一月十日マザリアに來襲を試みてより以來三ケ所で數回我軍に抵抗した殘類中でも勇氣のある奴等である▲今度も此の一軍との會戰であらうが無論歐露隊が斜行して散々やつ付けたに違ひない▲野砲隊に損害の多かつたのは餘り敵に接近して發砲し多大の損害を與へ居る內敵の小銃擲を受けたのではあるまいか▲西伯利出征當時は大分人心も緊張して居たが最近此頃になるとチト忘れられようとして居る▲殊にボカノーと暖かくなつて緊張した氣分が稍ともすると弛み相になつた今日田中枝隊奮戰の飛報は一服の興奮劑であると某軍人は語つてゐた

◎巴威政變事情

▲首相暗殺原因 巴威首相アイスネル暗殺者は[illegible]承認せざる態度を攻擊したる以來同人に對する獨逸諸新聞の非難攻擊は猛烈を加へ巴威に限り[illegible]る後アイスネルは更に新聞紙上にて右非[illegible]手を揚げ居たる折柄巴威にては多數派社會黨出身にして銳意治安の維持に努めたる穩和派社會黨[illegible]ゲンより歸來したる海兵並にミ[illegible]社會主義者間の紛爭勢ひを加へ來り一方キイル及びウイルヘルムハ[illegible]ては[illegible]に盡せるアイスネルの態度に關しては報道區々にして聊か判明を缺くも諸報道を綜合する所多數派社會[illegible]タシアンが事を擧げんとするの氣勢を制壓せんとの考へなりしもの如く二月廿日を以て內閣[illegible]ちに落命するに至りたるものと認[illegible]

▲ミ市の大恐慌 而して[illegible]り是に於てミュンヘンは非[illegible]を惹起し地方議會は自然[illegible]なり共產黨を網羅する社會主義者[illegible]

▲勞共政府宣言 二月廿[illegible]日伯林發電報は[illegible]の傳ふる所として廿[illegible]全盛にして政府軍及び水兵隊を總て勞兵會の指揮に歸屬せしむる有樣なりと傳へ來れり(某所着電東京)

咳嗽を鎭め痰を祛り
根本的に呼吸器を健全にす
タンセキ改良劑 呼吸器散
丸藥に呼吸器丸あり

かゝる時服用せよ
□息苦しく胸痛む時。
□咳出で夜眠られぬ時。
□たんに血の混る時。
□聲潤れ出ざる時。
□のんど腫痛む時。
□たんせき切れ難き時。

本劑を一週分試みよ如何に頑强のタンセキにても胸苦しきを和げたんを祛りせきを治し夜間安眠の効現はる。

藥價 十二錢 二十五錢 五十錢 壹圓廿錢 全國藥店に販賣す

本舖 丹平商會藥房 大阪心齋橋二丁目 東京日本橋室町

登錄商標
富士印ぬいめなし蚊帳
滿鮮一手販賣
印
蚊帳 製綿 麻布 夜具地 眞綿
卸問屋
大阪安土町三
山本佐七商店
大阪綿業會社
特約店

正十四金ペン付 ワシントン萬年筆
本品特色 ワシントン萬年筆は正十四金ペン付にて廻轉式なればインキを吸入するにスポイトを要せずインキの出具合頗る自由なり而して責任保證付なるを以て極く堅牢に製作なしあれば乱暴に使用するとも破損の心配なく尙委しき說明書は萬年筆と同時送呈す

ワシントン 萬年筆定價表

二號	廻轉式	婦人及學生用	貳圓八十錢
五號	同	同	參圓七十錢
六號	同	同	四圓
八號	同	同	五圓二十錢
九號	同	銀無飾	四圓三十錢
十號	同	金飾	五圓六十錢
十一號	同	二重金延	六圓
十二號	コンクリン式		四圓
十三號	操出式安全裝置		五圓二十錢

送料 朝鮮內無料 外國二十錢 代金引替料三十錢 代金引替拾錢

薄利多賣主義
ワシントン萬年筆朝鮮代理店
御望により寫眞入定價表御送附可申上候
京城南大門通一丁目 電話一九五九 振替京城一五〇二九番
宮川大學堂

…ルが獨逸社會主義大會の席上にて…戰爭責任問題に關し獨逸を救ふ…財份當が之に對する獨逸の責任を…が嫌疑を一掃し得る爲に…は淡泊に自己の非を認むる必要ありと主張せる爲一層論難の火の…司地方兵會が辭職を要請したるを發端とし右ロスハプトを支持するアウェル等の多數…

▲前首相の態度 此の間西ヨアヒム親王は二月廿日ミュンヘンにて逮捕せらるゝに至りたり…多數派社會黨分子を內閣より放逐し獨立社會黨を基礎とする內閣を組織し一は反動的革命派を抑壓す…其信任する新內閣を組織せしめんとする案を定めたる折柄偶々反動的革命主義者の爲に狙撃せられ直ちに…を出したる後議事室內に於て極端なる社會主義派に屬する怪しき印刷業者の爲に狙撃せられ生命危篤なる一方スパルタシアンの活動に伴ひ一般同盟罷工の宣言を見るに至りたるより…戒嚴令の宣布あり大紛亂…府を宣言せしむる旨又ベルリナーターゲブラット紙の報道に依れば目下ミュンヘンにて勞兵會の勢力…

○卅町餘に亘れる 朝鮮式葬列

國葬儀場より金谷へ

三日午後一時三十分朝鮮式の御葬列は國葬儀場裏を發し東大門に出で順路金谷御葬所に向ひたり。今其の模樣を記さんに同日午前八時卅分永成門を發し鍾路通りを東大門に進み葬儀場裏に著して葬場の儀終了を待ち居たる葬列は午後一時三十分葬場より大輿を迎へ葬列を整へ愈金谷御葬所に向け進發せり。時恰も國葬儀場に於ける葬場祭終了を約一時間半を經たること・て德壽宮、葬場間の國葬儀沿道即ち黃金町一帶を埋め居たり 拜觀者數十萬の過半は更に朝鮮式葬列ハ盛儀を拜觀せむとて東大門附近に押し寄せ鍾路通より殺到し來る拜觀者と合して東大門一圓の道路は

▽身動きもならぬほどに混雜せる中を三十町餘に亘る葬列は步調緩やかに騎馬憲兵を先頭に朝鮮步兵隊及び第七十九聯隊の步兵約一中隊及び少數の騎兵隊に前後を護られ葬儀の如き葬列順序に依りて東大門外に出でたり。大、小輿の美觀は更なり、神輿、腰輿、彩輿の過ぐる所沿道の堵列の者皆感嘆の聲を發し李王、王世子兩殿下の御馬車通過の折は沿道に跪坐慟哭する者あり人をして哀愁の感を催さしむ

▽葬列徐々と淸凉里近傍に進めば 山と云はず田圃と云はず遠近拜觀の人滿ち充ちて奇觀を呈す。三時十分葬列は御並木に挾まれたる水原營車場前の路祭場に到著す。祭場には遮日を設け遮日の橫には李王王世子兩殿下御休憩所たる軍幕の設けあり兩殿下は馬車を降りて軍幕の中に入らせらる。軍幕は一間半四方の白塗の小舍にして中には毯を敷き白色の座蒲團及び肱掛けあり外廓は白布の天幕を以て蔽はる。山川草木を祀り

▽一路平安を禱る路祭の儀滯りなく終了し四時に至れば兩殿下には背竹を杖づいて軍幕の裡より出で給ひ馬車に召されむとする時殿下の御脚下に跪きて切りに流涕嗚咽する傍臣らしき人數人を見受けたり。李王殿下には憔悴せる御顏色に更に御哀傷の色を浮べられ車內に俛首して落淚し給へり。拜せし者皆暗淚を含む中に大輿は動き初め葬列順々に進發せんとするや沿道を埋める數萬の群衆は聲を放つて泣き山河爲めに愁ふが如くに見受けられ斯くて葬列は淸凉里を發して四日埋柩式を行ふべく金谷に向へり

十重廿重

▽沿道の人垣 三日の國葬沿道は未だ夜明け前から滅の官憲兵が配置された、今日の盛儀を拜觀せんとする群衆は沿道至る處十重廿重の人山を築いた近郊から出て來た人達は宿るに家なく路傍に一夜を立ち籠して居るのや鍾路通りや黃金町通りの至る處で見受けた何うしても二十萬以上の人が入城した事は確實である黃金町通りでは白い鮮人女學生と京城龍山の兩中學生が規律正しく整列して居たのが目に著いた鍾路通りは朝鮮式の行列が通るので鮮人の雜沓は正に黃金町通り以上訓練院葬場附近の廣場は拜觀の人波で埋まつて居た

▽一老高官 御身邊に 泣き崩ろ

葬場內參列者控所たる東大門小學校講堂では金光眩く大禮服が輝いて居た東鄕中將を一團とした海軍武官の中へ總督府の高官達が入つて來てヤアーヤアと挨拶を交はす樣は親しげに見受けられた、葬場は頗る靜肅であつた伊藤祭官長の祭詞が

▽森嚴な響で人に迫まつた、靈柩如きして靈柩前に進まれた李王殿下の御拜禮には一同御胸中を恐察申上げずには居られなかつた、新町西方の高地で發射する弔砲は全京城を震撼したが一方葬場內では午前十一時三十五分拜禮の間に弔砲の一齊發射が三回行はれ悲痛の心持が更に濃くなつて行つた、拜禮を終つた長谷川總督と大塊總理が葬場を退出して行く凜々しい姿が特に衆目を引いた東大門を出て淸凉里金谷里に向はれた

▽御葬列が 淸凉里で路祭を行はれ再び御引きとなつた時喪服の一老高官は王世子殿下の御身邊に泣きくずれた哀號々々と慟哭する樣の痛々しさ陪從の人達に抱かれて猶號泣し續けて居る中を御葬列は肅々として北進し始めた折柄の夕陽が紅や黃の旒旗を哀しく照して居た

▽南大門驛は 大混雜

國葬儀を拜觀の爲め地方から流れ込んだ約二十萬の群集は三日拜觀を終ると共に歸路に就いた者多く南大門驛の如きはゾロ〳〵と列をなして一時に押し寄せたので待合室は忽ち滿員となつて大混雜を演出したが夜に入つては愈多く乘客は放丁と並列して切符を買ふと云ふ有樣にて每列車共滿員の盛況であつた列車に乘り損つた連中の中には驛員の注意も聞かず盛に列車の發車する迄待合室を動かなかつた者も大分あつた

淸凉里の李王殿下（中央が殿下路祭に御參列の爲め出でられた處）

▽御停止で 寂しい市中

國葬の三日諸官廳は勿論一般市民は休業して戶每に半旗を揭げ弔意を表したが夜に入りても何となく物寂しく總督府前は鳴突の煙も低う垂れて大漢門の篝火が暗く見受けられ一方市中は劇場寄席興行、飲食店の休業と共に一般歌舞音曲を停止せられたる爲め料亭は云ふに及ばず市內は恰も火の消へたるが如き觀を呈したり

▽各地 遙拜式

▲間島 國葬當日間島にては朝鮮人會の催にて普通學校々庭に祭壇を設け午前十一時遙拜式を擧行せるが領事館員、文武官、商務長、日本居留民會、普通學校、農學校、婦女教、天道教、大宗教、孔子教、商務會其他各團體及び村落より來會せる者等總數二千名順次燒香し殿前に式を了せり（間島）

▲元山 元山內鮮人聯合遙拜法會は三日午前十時東本願寺別院にて擧行され會する者數百名に達せり尙鮮人側にては午後二時より元山里山頂にて望哭式を擧げ會する者二千名に達し頗る莊重裡に式を終りて退散せり（元山特電）

▲長春 三日午前十一時長春神社境內にて李太王殿下國葬遙拜式長春朝鮮人會主催にて擧行せられたるが來會者鮮人男女約百五十名內地人約五十名當橋本長春領事、野鐵署長、新山領事官補其他有力者多數來會陰肅裡に擧行され正午終了せり市內鮮人各戶は半旗を揭げ銀行會社等亦休業弔意を表せり（長春特電）

▲全州 全州官民は三日午前十時より梧木臺上に於て國葬遙拜式を擧行したるが列席者內鮮人合せて數百名委員長李鎮鎬氏以下燒香の後一齊に敬禮して式を閉ぢたるが頗る嚴肅を極めたり（全州）

▲大連 三日李太王殿下國葬に當り大連市民は各戶半旗を揭げ銀行會社亦休業し敬弔の意を表せり（大連特電）

○國葬參列の 諸名士 續々出發す

國葬參列の爲め滯城中の諸名士は國葬の終了と共に出發すべく既に使節一行は三日夜南大門驛發列車にて出發したり今四日朝は勅使日野侍從、三宮式部官、武田、長野、井上、村木の各宮家御使及び東鄕中將、井戶川少將、廣池軍醫、伊東、山井、田所二中將、倉富帝室會計審査局長官、古賀拓殖局長官、仙石子爵等出發する筈にして其他は大部分四日夕若しくは五日歸任する由

○國葬拜觀の爲 外出中に火事 全燒一戶半燒三戶

三日朝七時半頃德壽宮は靈輿發引準備の眞最中程遠からぬ南米倉町百七番地官吏加來新方より出火し忽ち大騷ぎとなりたるが南大門消防隊が逸早く馳付け消防に努めたる結果同家を全燒し半燒三戶を出したるのみにて同五十分鎮火せり右は一家族揃つて國葬拜觀の爲め外出したる留守中の出來事にて多分炊事場の殘火より出火したるものゝ如く又前記半燒の三戶も同じく國葬拜觀に出掛けたる留守中と云ふ

愈々京城を離れて 金谷に向はんとする靈輿（東大門外にて撮影）

○襄陽丸絕望か 目下引下作業中

慶北浦項沖合にて淺瀨に乘り上げたる朝鮮汽船會社襄陽丸は引續き引下作業中なるが何分にも船體三十度に傾斜し且淺瀨なれば汽船を近寄らすこと不可能にて遠方より曳かんとするも牽引力弱く未だ離洲するに至らず此分にては到底引下しの見込なしとのことなり

く猶燒の厄に遭ひたるものなりと

○死傷者十數 名を出す 大連の怪火

旣報の大連埠頭に於ける揮發油火災につき其後の調査に據れば損害價額十九萬圓即死者二名、行方不明の者四名、重輕傷者十一名なるが發火原因は今に至るも例に依りて不明なり（大連特電）

○車掌の災難

一日午後六時十五分釜山鎮電車停留所構內に於て電車と電車との間に頭を挾まれて即死したる電車々掌あり同日は釜山公立高等女學校生徒の遠足あり東萊よりの歸途生徒は一臺の電車にては乘る事を得ず更に一臺を出し共に滿員にて先づ十一號電車が進行しこと五六間の距離を置きて六號電車續行せしが未だ何れも進行せるかせざるに後續八號電車が惰力にて進行し來る時前方電車の車掌李奉律（二七）は乘客多數の爲め後部窓より車體外に延び出さんとする際衝突し兩車の間に挾まれ打撲傷を負ひ腦震盪を起したるより同地鐵道醫師の治療を受けしも遂に死亡したり

○「淚の家」に同情

過般黃金館に上場好評を博したる電國架劇「淚の家」の主人公釜山富平町の中淵仲太郞に同情を寄せ金品を寄贈する者數からず本社へも左の通り寄附方依賴ありたり

▲二圓宛 深堀松之助、秀、信濃一幸、堀川正夫、健部タテ ▲一圓宛 西田春四、無名、白井和一、深堀市次郎、李明均、無名、高木、前田友衛、小力秀勇、成駒、おたつ、尾崎和之、間森スエ、友喜久、今里、木村滿、土橋ヒデノ、無名、齋藤惣治、淸光館、矢田菊松、浦上平治郞、松山重治、杉浦、森、無名、無名、上中道、中山源佐、山本安二郎 ▲五十錢宛 無名、磯部美代、井上文平、飛井田俊平、商助繼二、吉村ハルエ、中本ラク、洞、太郞、山本助次郎、無名、山本德太郎、大野ユトミ、無名、近藤、飛田初枝、軍人、同上、井町タケ、大關シゲエ、高竹、小村、無名、同上、野村信一、杉田久作、岡田助三郎 ▲三十錢宛 二上キン、山本、無名 ▲二十錢宛 無名、同上、軍人、同上 ▲十錢宛 林桂之助、岡田イサ、武田モリエ ▲五圓七十六錢 無名

合計六十七圓七十六錢

○子供連れの 春の散步

寒さや食物に對する種々の注意

春らしい氣分になりましたのでこれから日曜などには子供を連れて散步する夫婦などが澤山にありませう、子供連れの散步には勿論夕の寒い風があたらぬ前に家へ歸ることが一番大切で折角の散步に感冒を引かせたりしてはとんだ災難になります、ですからどんなに

△天氣が好 つても子供を連れてる場合には三時が打つたら歸り支度をして四時までには家へ著くやうにするのが肝要ですさうすれば寒い風に當る憂ひもありません、それから途中のお辨當ですがこれも成るべく家で仕度をして行くのが善いと思ひます、市內の飲食店ならば

△惡い物を 賣るとは言はないですが郊外の小さい穢い店屋などでは日數の經つた腐敗物があつたり又器物が汚いので、どんな黴菌がゐないとも限りません、それから朝の內どんなによく晴れてゐても洋傘の用意を忘れてはゐけません子供の外套なども著せずとも

△必ず携へ て行つて天氣が不意に變る時に備へておくことが必要です、先づこれだけの準備して家族打揃つての郊外散步をすれば一日の行樂として先づ安全な次第です（某女史談）

演藝

▲大正館 四日より喜劇 山本嘉一、吾妻猛夫 新派出演の新派悲劇（夕陽）全五卷 實寫印度の王宮、喜劇博物博士 ▲滑稽女と女 ▲人情活劇天使 ▲舊劇里見二犬士

日本の貞婦鑑 ピストル 九州放春作

（その四）

同『此はけしからぬ其詞現在僕が血を分け孕ませし其者を、何故君は他人と言ふか』同『ハヽヽ、それが君の自惚れと云ふ物、常識もつて考へても見たまへ、彼れが良家の娘とか、又はこれなる妻君の如き、操の正しき者なれば、疑ひ入る餘地は無けれど、名は人の性を現はす

狐に因のある

忠信名を聞いても分るでないか、殊に彼女が言ひかはした仇し男があると聞く妊娠は事實として、果して其子が誰の子やら、言はゞ客の共有物素性正しき都野川の家の世繼と爲す者を血も知れぬ子に繼がせ、血統亂す其時は、それこそ先祖へ大不孝、諦らぬ事を考へず妻君と協力して家業大事に稼ぎたまへ』下世話にも言ふ通り、稼ぐに追付く貧乏無し、兎も角妻君離別の事は、此伊氣戶に任せたまへ』と少しは

詞に角を立て

半ばからかふ忠告を聞いて都野川は眼を怒らし 同『伊氣戶君、君は僕が弱點を捕へ、如何に親友なればとて除り侮辱した其詞、痩せても枯れても義雄は一個の軍人、女房に子の有無は拔き男子一旦離別と決したからは飽く迄意志を貫く孝へいらざる忠告御無用々々』とすげなく出す詞に女房は、恢へ兼ねて進み寄せ 同『ソリヤあなた何の事、私に罪があればこそ、伊氣戶樣に失禮な、御親切な御詞を用ひぬのみか、勿へ、一圖荒立てせり合ふことはあんまりでござんすわいなあ』と悔めば伊氣戶も

同情の淚に胸

もふさがる思ひ 同『イヤ妻君、あなたの御心中はお察し申す、同情すると同時に、都野川君の心情は察しろ偶然に壞へられぬ、いつぞや藝は將來迄も望みが無い、今の內に思ひ切れ、離緣して連歸ると、異々勸められた時、あなたは少しも聞き容れず、此內を去るならば、髮をおろして尼となり、飽く迄操を立て通すと、言はれた時は兄さんも

血筋の情に堪

へ兼ねてわつとばかりに大聲揚げ男泣きに泣かされた時は、側に聞入る一同も思はず知らず貰ひ泣き

流石の君も其時は伊氣戶賴むと此おれに、言うたに今は忘れたか、如何に天魔が魅いりしとて、都野川の家の柱石ともなるべき程の良妻賢婦飽く迄侍婦に見かへることは、あきれて物が言はれぬ』と眞心籠めし友情を聞く女房は咽返り、ちや是程迄に願うても情も淚も無いなれば

因緣づくと諦

らめます、好いた女を呼入れて、夫婦となりなされて、私は下女か飯炊きか、つまらぬ兄弟持つたと思ひ、お側に置いて下さんせ、召使ひ、せめてはそれを樂みに、家業大事に勤めます」と、眞實面に現はれし比ひ稀れなる貞節は、絲より薄き人情の、今の社會に珍らしき、優れた言ふもおろかなり。

生徒募集 日本獸醫學校 東京市外下目黑 ○本科（高等小學卒業者）籟獸工科○願書三月末日迄○諸種の特典あり 規則書要郵券二錢

社員募集 給料參拾圓以上外に步合手當を支給す希望者は左記事務所に來談あれ 京城、大邱、釜山、群山、木浦、元山、平壤 大連 明治公債株式會社支店

問屋製造家の所在一目瞭然商家無二の重寶物 最新刊 東京問屋便覽 ポケット形正價七十錢送料四錢郵券代用一割增送金は振替が便利 本書は東京市內に於ける各種商品製造家及問屋業者を最も詳細に密に調査し一千數百店を採錄編纂せるものにて地方商家及是より店を經營せんとする者の必讀書也品物の注文値段の問合取引の交際に此一書を備へて商機の運用を誤るなからんことを… 發行所 東京市京橋區南紺屋町一九 振替東京一四四五三番 日本物產商會

糸卸 其他針・裁縫箱及附屬品一式 京城北米倉町 ビワコ屋糸店 電話五〇五番・振替壹六壹五番

文藝俱樂部 三月號 口繪 ▼お稽古…武田比佐 ▼美人の艶姿二十有餘頁 夏目漱十郎 狂女供養…長谷川時雨 ▼宮中の雪のお掃除…信田葛葉 ▼日本一酒造物語…池田浪人 お三津淸助鹿の子絞り…馬場孤蝶 ▼櫻時の上野と淺草…鬼世之助 ▼大阪支那人町の女…天野忠雄 八百屋お七…碧瑠璃園 新作 ◆月夜の船の泣男…海賀變哲 謠派 ◆賓婦鳴尾…本田美禪 伊勢の花街から…忠兵衛 中七 人形使ひ…岡本綺堂 ▼駒鳥小說 破れ笠…福田仙弥 ▼寫眞小說 すみだ川…川口松太郎 ▼大正昌大正帳 ▼角兵衛獅子…嵐兒子 ▼火葬場縈昌記 ▼往來自動車時代…町人 芝居見たまゝ おその出立（市村座大切り）…春浦 ◆四本柱お相撲問答…富太郎 ◆講談聞た儘 大瀨半五郎（伯山口演） 花柳小說 梅千代の話…北島春石 松戸氣分 怪藝者怪女中…しのぶ外史 ▼おれも行く吾も行く…仲木貞一 ▼文士割まじめ評…逆語 ▼はつ舞臺とその傑作…千中鉦亭 ▼活動寫眞の子役…吉山旭光 ▼漫畫種々 ▼演藝羊頭錄…二木文雄 ▼三月の九星 ▼高等通人學…吉岡鳥平 ▼醫者文藝外 怒々出たり 火の見の怪猫…燕如 定價四拾錢稅二錢 東京株式會社博文館 振替東京二四〇

△陸軍拂下 被服類其他販賣 諸官衙拂下品 和洋衣類拂下品 メリヤス雜貨商 京城漢江通一二三（電話長三三六番） 佐藤古着店

▽好評湧くが如く初日二日共各等賣切御禮申上候▽ 大阪每日連載 菊池幽芳氏作 女の生命 天活會社の努力に依つて立派な寫眞と成つて生れました 每日滿員 續きの 黃金館 當館封切

母と子（百廿三）

北島春石作　森田久畫

奇遇（三）

今日、偶然な機會から初對面した人とは思はれず神崎昇一郎が同情を寄せてくれるので、さらば心の苦悶をと、雅巳は今までわが身に起れる一切の悲慘を打明んとした。

『いや、こんな事をお話しゝたところで、初めてお目にかゝつた貴方には、無論、何等の御關係もない事ですが……』と言ひつゝも形容し難い苦痛を感じたらしく、雅巳は手酌で二三杯『然う云ふと男の癖に甚だ意氣地なく聞ゆますが、假にも親や妻子のあるものは、たゞ一人で遠く旅立つものではありませんな。僕にはその親もなく妻もなく、幼い娘を殘して來たばかりだから、涙も凍る夜半の夢には、屹度その娘の幼い姿のみが現はれます……然し、恁うした悲哀を繰返す身となつたのも、みづから犯せる罪の報ひと諦める外はない。あゝ、今考へても妻に對して濟まん、幼い娘に對しても恥入るばかりです。』

『すると、何ですか。』と、昇一郎は他事ならず氣を入れて『貴方の御樣はお逝去になつた譯ではないのですな。』

『溺れる戀に迷つた結果、罪なき妻にあらぬ濡衣を被せ、今から四年前に離別をしたので。』と、その折を思ひ出だした懺悔の涙『ところが、この世に親子の愛ほど強いものはなく、十年來連添ふた良人より無理に振捨てられながらも、いつかは覆水盆に返るべき希望を斷たず、無慈悲な兩親からあらゆる迫害を受けながらも、三年の間孤獨の生活をつゞけ、女が無二の寶とする操を守つて來たのは、わが子から再び母と呼ばれたさの一念ばかり……一口に三年と云へば何でもないが、その間の艱難辛苦を思ひやつたゞけでも涙の種です。然し、別れた妻の苦痛を推察した上、然うして懺悔の涙を流すのは、溺れる戀の迷ひより覺めた後の事で、その三年間、別れた妻を夢にも憐れむ氣にならなかつたとは、天性の愚かさのみならず、何といふ淺間しい人間だらうと僕は自からの行爲を惡魔として悔まずには居られんです。』

『なる程、さうお話を伺へば尠からず御同情を……然し、みづから心にかくまで簡の鞭を加へたとすれば、神からも又人からも、今までの罪を赦されねばならぬ筈です。』『いや、この罪ばかりは、神さまでも斷じて赦してはくれんでせう』『とは又何故ですか。』

『あまりに冷酷無情を極めたからです―高が一片の懺悔に依つて憫みても猶あまりある罪を赦してくれるなら、神こそ却つてその存在を疑はる、筈です。』

『そんな事はない！いや斷じてそんな氣遣ひはない。』と、昇一郎は語氣を強めて打消した『僕は元より神にもあらず、地から一寸も離れて生きられぬ人間ではあるが、さうした涙と懺悔を聞けば、如何なる罪でも赦す氣になれます。ない―貴方は確かに赦されたものと自信をなすつて宜しいでせう。』『あゝ、それ程に一片の懺悔が力強いものとすれば、僕も新しく蘇生する事が出來るのだが……一度去つた妻は永遠に還るべき見込がない。それが、わが娘に對して悲哀を誘ふ種と思召していたゞき度いです。』

『で、その後の消息は……』『三年も待つた甲斐なさに血の涙を絞つた揚句、遂に良人やわが娘を思ひ捨て、他家へ縁付くと云ふ悲慘の境遇に泣かしむる事に。』『それは如何にもお氣の毒ですな。』と、ますく同情の念を深くして『その御縁付先は？』

『いや、それは全然耳に入れんです。』と、雅巳は撫然として腕を拱き『然し、別れた妻ではあれど、今後に於ける志保子の幸福を祈らずにはゐられない。』

◎足の裏の改良

◇英國の研究　日本でも此程の或る米國新聞に英國に於ける足の裏の研究のことが書いてあつた、尋常の足の裏即ち

◇土附　ずのある足の裏を持つて居る婦人は二割位しかない、足は容易ならぬ問題だと云ふので、ある足の裏が平で板のやうになつて居る人は歩行が第一充分でない、勞働にも割引があつて常に損をする、のみならず足の裏が平である爲め腦へ非常な影響を受ける日本で所謂土踏ずの無い人を取らなんだのも此の理由に外ならないのだ

◇平板　な足裏の兒童に對しては是非共之れが治療又は矯正を施さねばならぬと云ふので今日では兎に角土踏まずが深くなるように、其方法として兒童を海濱に連れ行き、裸足で砂の上をドシく踏んで歩かせたり、靴や足袋の底へ砂を入れ一寸としたりして、足を常に緊張させるような心持にさせるのださうだ、夫が習慣になつて自然に土踏まずが深くなつて來る其方法は

◇米國　でも目下盛んにやつて居るさうだ兒童教育上にも重大な事で此土踏ずのない子供は、跳んで人に負ける、道を歩けば他より先に疲れる、從つて子供に活氣が無くなる、之が遂に兒童をして常に他に及ばぬと云ふ卑屈心を起さしめ、優勝劣敗の社會に敗者たる大原因となるのであると英國でも近頃非常に八釜しい

◇問題　となつて來て、職業に大影響をする即ち足の裏の平な者は立ち仕事などは直疲勞して駄目だ一つ國民の足の裏改良をせねばならぬと騷ぎ出したさうである

◎今は亡き政子姫

光演法主の姫君　ありし日の俳句の數々

大谷政子姫の逝去に就て父君光演法主が詠まれた句の中に政子姫に因むだのがあるそれも今では悲しい思出の種となり光演法主がいとしき姫のありし日のそのかみの面影を偲ばせらるゝもさこそと誰れも變らぬ親心より同情の涙に思はず袖を濡らすであらう。

◇

二女が嫁げ今度男を得たるを喜ぶ

女郎や女郎花とても男郎花

この『女郎花』と詠まれた中には政子姫が含まれて居るのだが其の女郎花も散つて今は無し。

◇

政子姫と妹君の素子姫が東京の學習院在學當時の成年の夏期休暇を終り懐しい父母君に名殘惜しい別れを告げさせられ東上の砌恰も二百廿日前後で空模樣も險惡であつたので法主は姫君達を案ぜられ

二百廿日歸校首途の子を憂ふ

と詠まれたが歸らぬ旅の首途こそ尚更憂深い事であらう。

◇

政子姫は平素から蒲柳の質で一昨年秋は須磨に靜養して居られ一日父君光演師は姫を見舞はれ病後の瘦衰へた力無き白い御手の痛ましさに

病後瘦し子の手物あなが身に沁みて

と詠まれたがはかなくなつた冷たい姫の手をとられたときは物あはれ給ひし日の御手も今は悲しい追憶となつたであらう

◇

光演法主は姫君や光暢丸が集まられて仲睦じげな御有樣を眺められるを何より樂い事にしてをられたそれは常に姫君達は東京に光暢丸は岡崎に行かれたりなどして御兄弟揃つて顔を合せられるのは全くお正月位であつた法主は曾て

お正月に

繼慕待つ間夢話子等笑はしぬ

と詠まれたがもう夢話の中にも淋しい空虚な心持ちが絶えないだらう

◇

法主は餘暇ある毎に姫君や光暢丸を連れられて名所舊跡を尋ねられた、それは法主の樂しみの一つであつた、昨年の夏も半月程城崎や天の橋立と丹後の各地に遊ばれたがそれから山陽方面に向ひ宮島を經て歸洛されたが勿論政子姫は誰よりも好いお伴であつたが其れも今では懐しい思ひ出に過ぎなくなつて一切無常と悟りは開いて居られても儘ならぬ浮世は夜毎日毎いとしき姫を思ひ出される事に咽ばれるであらう

我等の俳句

雛　芹郎

母さま白酒に醉うて襖をあけたてなさる

庭の土踏みこの身ほの白酒に醉ふべし

白酒つがる己が袖なほざりにせざりけり

白酒の盃つめたきはいとこゝろよ

この夜階下に寢な白酒を酌み給へ

野原の果ての空は燃ゆる雛の盃

うれしく雛酒に醉うたひとりが離れたりけん

吾等の書籍重りあれば白酒のくみ交さるゝ

雛よ獨り坐ればひそかに振舞はんとすぞ

風よ白酒めぐるからだを移さんとする

雛酒くまる集ひの眼くろきまなこ

五の日十の日會の一發展として京日俳壇と並んで本欄を設く『我等の俳句』に志ある諸子の作品を歡迎す原稿は直接京城府內泉町七中村烏堂宛の事

日報柳壇

比翼塚　劍化坊選

死損に須磨子をせる戀の論　十の字

鸚鵡の化石のやうな比翼塚　同

比翼塚とは連理の樹を植ゑる　同

比翼塚睨んで通る戀敵　屁介坊

カチウシヤ可哀や比翼塚に成り　同

比翼塚東京辯ではめられる　同

比翼塚賴まれもせぬ花を立て　鐸府

比翼塚惚れぐの行詰り　同

遺言をつぶし別々埋め　同

いゝ恥晒しだと比翼塚　同

▲大分春めいて來たこれから吾等も喜ぶ散歩の時節である此の日曜日寧ろ無駄に過すべからずで散歩に出たが人家に離れすので、ハヽー新聞で見た所の路の取擴げに掛かつたなと嬉しかつたが早く櫻や紅葉を植付けてもらひたい家族的の遊山には第一等である亦運動なども盛んにやつてもらひたい當金山通りから自動車で成金先生達が乘込むのが目に見ゆるような心持して小さい悟りの想像に耽つゝ散策であつた僕は亦此附近に邸宅を構へたら一日の勤務の勞を慰するに適當と思つた早く其計劃の完成を京城府當局者に希望します(散歩生)

▲私は毎日位に必ず電車に乘つて居りますが乘る度毎に屹度一日に一の婦人に出會ひます親切丁寧の守り本尊なるべき車掌がいことはありませんですそれに堪へない次第でございまする。一昨日でもでした停留所で暫い間待つて居りましてやつと電車が乘りましたでやれしやと急いで乘らうと致しまするを『そんな所から乘つちやいけません』こちらの後ろから乘りなさい』と邪慳に怒鳴り付られましたが目なつむつて後ろへ廻りましたそして私がやうやく乘ろうと致しまするト車掌は發車の鈴を邪險く鳴らすぢやありませんか私は『待つてください』と二三許り聲を掛けましたがその時はもう電車は出掛けて居りましたそして車掌は後ろを振り返つて意味ありげにあざわらつて居りましたこんな殘念なことでも一度や二度なら忍耐も出來ませうが然し毎度の事と云ふ様にある四五度と續きますとこちらも堪忍ならぬ事を申すこととなりますにつきまして私は車掌に懇切なることを要求いたしますと共に電車の乘降りに付いて、まだ一般の人が初めて乘る心持ちで一寸お伺ひ致しますが…(婦人)

ケンシヨウエキス

本劑は各大病院の諸先生が…胃腸病…

藥價　十五日分　壹圓　五十錢 / 試用 六十錢 / 送料 各二十錢

京城若草町(新道路)　本舗　東洋藥房　電話　一二八

大阪屋號

一冊本城京(京城本町一丁目)

電話二二八六番　振替京城二五七三番

▲朝鮮教育法規　朝鮮研究會編　定價七十五錢　送料八錢

▲朝鮮法令輯覽　總督府編　定價十二圓　送料二十六錢

提要

日の中へ　小能口郎　一・五〇　八

お絹と其兄弟　佐春夫　四〇　四

始め栄陶記　佐々邦譯　九五　四

裸體の人間　村上浪六　一・八〇　八

象狩の後　加朝島　一・二〇　八

最新刊

朝鮮總督府　大正八年　最近朝鮮事情要覽　定價九拾錢　送料六錢

佛家の心得　…　一・〇二

會社創立と實務の心得　…　一・五〇

佛典に現はれたる病法　…　七〇　八

珠算手扱法　小澤啓太郎　六〇　六

朝鮮語義諺解　道明　一・八〇　八

りん病

急性慢性を問はず博士發見の新藥を配合せる淋滅を御用あれば全治速なり

藥價一個四十錢、二圓七十錢、四圓、送料不要

ルーデサック特製品

A十個廿錢　B十個廿五錢…

京城黃金町三振替京城三七二二　山田文殊堂藥房

◎婦人病特藥◎

向寒の折柄婦人家病の常備藥なり

主効　神經衰弱、貧血症、子宮病、月經不順、腰冷症、生殖器病、リウマチス、ヒステリー、ヒポコンデリー、老衰、精力減退

人參三優丸強壯劑

定價　廿五入　金壹圓　卅五入　金壹圓五拾錢　四十五入　金壹圓九拾錢　五十五入　金貳圓三十錢

送料　市內　三錢　郵外　二十錢

全國一手販賣　京城太平通　京城日報代理部　振替京城三〇三番　電話長十三番

御通知次第送達仕候

京城特約店　山岸天佑堂

京城特約店　北島支店

處方を明記して責任を明かにせる本邦唯一の ◎ミツワ家庭藥

ミツワ家庭藥は內容を祕して徒らに萬能を說くが如き賣藥に非ず現代知識階級の要求に應ずる唯一の治病補助機關也

特長

一、處方を公開し內容を明示す。
二、處方的確にして效驗顯著なり。
三、性質劇烈ならず中毒作用の危險無し。
四、藥品純良にして效力一定不變なり。
五、製劑精巧にして變質の憂なし。
六、容器完全にして取扱に便なり。
七、包裝輕小にして携帶に便なり。
八、內用藥は錠劑なれば服用容易なり。
九、用法簡易、諸種の疾病に弘く應用せらる。
十、價格低廉にして永く保存に耐ふ。

食物の蛋白澱粉及脂肪を消化吸收せしむる ◎ミツワ消化錠

處方公開　三十錠金拾五錢　百錠金四拾錢　三百五十錠金壹圓廿錢

主要成分　ヂアスターゼ、パンクレアチン、メントール(詳細は說明書にあり)

適應症候　消化不良、食物停滯、食慾缺乏、食過、胃加答兒、胃酸過多、胃弱其他胃腸病、貧血、榮養不良、衰弱にて消化を促さんとする場合

胃腸病は勿論大抵の病は消化を妨げるが、消化が不良くなると食慾は減り、身體は瘦せ衰へる、然るにミツワ消化錠は米穀類や野菜類を消化する澱粉消化劑と肉類や牛乳鷄卵類を消化する蛋白消化劑とを配合したもの故、病があれば勿論無くても總て消化を良くするには、用ひねばならぬ理想的消化劑である。

消化並吸收を促し食慾を增進せしむべき ◎ミツワ健胃錠

處方公開　三十錠金拾錢　百錠金貳拾錢　三百錠金五拾錢

主要成分　重炭酸ナトリウム、煆製マグネシア、次硝酸蒼鉛、メントール(詳細は說明書にあり)

適應症候　食慾減退、食物停滯、消化不良、胃部膨滿、胃部重壓、胃痛、曖氣、嘈雜、神經性胃痛、惡心、嘔吐、胃弱、胃酸過多、急性及慢性胃加答兒

食慾進まず、胃部が痞へて張る又脹されるやうに重苦しく、曖氣が出て嘈雜がして、惡心く嘔吐を催し、時々胃部が痛む慢性胃加答兒、即ち俗に胃病と稱へるもの。次に是等の症候が尚一層劇しい急性胃加答兒、即ち俗に謂ふ食傷。其等胃病を治すには、ミツワ健胃錠を用ふるに限る。

酒及菓子類に因る胃の諸症を治癒すべき ◎ミツワ制酸錠

處方公開　百五十錠　金貳拾錢

主要成分　重炭酸ナトリウム、燐酸アムモニウムマグネシウム、硼砂末、メントール(詳細は說明書にあり)

適應症候　酒の惡醉、酒の過飲、宿醉、菓子類の過食、曖氣、嘈雜、溜飲、食慾缺乏、食物停滯、消化不良、惡心、嘔吐、胃痛、胃酸過多、急性胃加答兒等

酒の飲過ぎや惡醉で、惡心く嘔吐を催し、食慾失せ、頭が重く或は痛み、何となく心地の惡いのは、酒の爲め胃を害つたのである。此の如き酒から起る急性胃加答兒。其他胃酸過多症と稱へて、菓子や汁粉の食ひ過ぎから起り、胃が痞へて重く嘈雜がして胃が痛むなどには、ミツワ制酸錠を用ふるに限る。

瀉下作用緩和確實にして腹痛を起さゞる ◎ミツワ緩下錠

處方公開　四十錠金拾錢　百廿錠金貳拾錢　三百五十錠金五十錢

主要成分　カスカラサグラダ流動エキス、複方甘草散、メンタ油(詳細は說明書にあり)

適應症候　常習便祕、胃腸病、腦病、神經病、心臟病、肺病等より來たる便祕、其他便祕一般。

便通が無いと、氣分が勝れず身體が倦怠くなり、頭痛や眩暈がして、心悸が亢まり、食慾が減り、惡心や嘔吐を催し、腹部が膨されるやうに或は張るやうに感じ、遂に痔疾を起すことがある。殊に他に病があると便通が良くないと、其の症候の險惡くなることが多い。ミツワ緩下錠は緩和な下劑で、腹を痛めず連用しても習慣しないから、家庭で便祕に用ふるのは之に限る

製造品目錄御申越次第進呈　ミツワ石鹼本舗　東京稀町　丸見屋商店

傳染病流行の際豫防上缺くべからざる ◎ミツワ解毒錠

處方公開　三十錠金貳拾錢　七十錠金四拾錢

主要成分　メチーレンクレオソート、サリチール酸フエニール、龍腦末、メントール(詳細は說明書にあり)

適應症候　過飲過食の場合、不良の飲食物を攝りたる場合、感冒の場合、傳染病者に接したる場合に胃腸を防腐殺菌し胃腸病を豫防す。

本劑は胃腸を防腐する藥劑に健胃藥を加へて製したもので、飲み過ぎや食過の際、不良の飲食物を攝つた折、感冒の時、傳染病者に接した場合などに、胃腸を防腐殺菌して、胃腸病の起るのを豫め防ぐことを目的とするのである。それ故本劑は是等の場合に用ふるのは勿論のこと、殊に赤痢、腸チフス、コレラ等の如き傳染病に對する主藥に兼て服むべきもので、傳染病の流行する際是等を豫防するには、何人もミツワ解毒錠を常用するに限るのである。

下痢就中過食寢冷に因る下痢を止むる ◎ミツワ止瀉錠

處方公開　廿五錠金貳拾錢　六十錠金四拾錢

主要成分　次硝酸蒼鉛、タンニン酸アルブミン、沈降炭酸カルシウム、阿片エキス、コロンボ根末、大黃根末、メントール(詳細は說明書にあり)

適應症候　過度の飲食、不良の飲食、寢冷等より起る下痢、急性傳染病以外の諸症より起る一般の下痢。

食過ぎたり不良の物を飲み食ひしたり或は寢冷へしたり、又は其他傳染病ならぬ病が原因になつて腹痛を起し、腹が鳴つて一日に數回から十數回も軟い粥の樣な或は水の樣な大便を洩らし、粘液や不消化の食片が混じへたりして遂に裏急後重になつて苦むやうな場合には處方公開のミツワ止瀉錠を服むに限る。本劑は下痢を止め疼痛を鎭める收斂藥を主となしそれに健胃藥が加へてあるから之を用ふれば下痢は止まり胃腸も亦健全になる

蛔蟲蟯蟲等腸內の寄生蟲を驅除すべき ◎ミツワ驅蟲錠

處方公開　廿五錠金貳拾錢　六十錠金四拾錢

主要成分　サントニン、カスカラサグラダ流動エキス、センナ葉末、甘草末(詳細は說明書にあり)

適應症候　蛔蟲、蟯蟲等腸內に於ける寄生蟲を驅除せんとする場合、是等寄生蟲の腸內に寄生し居る疑ある場合

腸の內に蛔蟲や蟯蟲が寄生して居る爲に、腹痛や眩暈がして、口が渇き、舌に苔がつき、惡心く嘔吐を催し、或は下痢を起し或は反對に祕結するやうな場合には、內容明示のミツワ驅蟲錠を用ひて、其寄生蟲を逐出さなければならぬ。又何等の症候もなく、寄生して居ないと思つても、殊に子供が腹痛などを訴へることには、診斷的豫防的に、本劑を用ふるのが良い。

痔疾のあらゆる種類に卓効を奏する ◎ミツワ痔坐藥

處方公開　六箇金四拾錢

主要成分　鹽酸コカイン、タンノホルム、イヒチオール(詳細は說明書にあり)

適應症候　痔核、痔瘻、肛門裂傷、脫肛、肛門內に瘙痒ある場合、肛門部に疼痛或は灼熱感ある場合

一口に痔と稱へるものの內、痔核即ち疣痔とは肛門の內或は外に小豆位から鷄卵程の大きさの結節が出來るもので、多少痛みを覺え、殊に痛んで時々出血する。痔瘻即ち穴痔とは肛門の內外に孔が出來て膿の出るもの、肛門裂傷即ち裂痔とは肛門の粘膜が裂けて劇しく痛み血の出るもの。是等にはミツワ痔坐藥を用ふるに限る。便通を適宜し內容明示のミツワ緩下錠を用ひ、本劑は疼痛を鎭め出血を抑へ收斂防腐等の作用を現はすものである

大阪商船汽船出帆

(仁川出帆)

▲沖繩丸　三月十四日　正午

×群山木浦大阪行　信濃川丸　三月　日　正午出

(元山出帆)

西湖津、新浦、城津、清津行　安寧丸　三月四日　後十二時

(大連出帆)

●上海、基隆、打狗行　湖北丸　三月十九日　後六時出

●北米行　南米行　毎月一回

內地各港出帆　主要航路

大阪商船株式會社仁川支店

尼崎汽船出帆

群山木浦下ノ關大阪行

赤城丸　三月五日　後四時出

大有丸　三月六日　後四時出

神代丸　三月十日　後四時出

秀吉丸　三月十三日　後四時出

君が代丸　三月　日

仁川海岸通二丁目(電話五九番)　富杉回漕部

朝鮮郵船出帆

平安丸　三月　日　元山發

平壤丸　三月四日　六日　釜山發

京畿丸　三月四日　六日　十日　元山發　釜山發

雄基行　京城丸　三月　日

元山雄基線　穩城丸　三月　日　元山發

大阪行　大保丸　三月　日　元山發

×咸鏡丸　三月七日　釜山發

金剛山遊覽便　成鏡丸　三月　日　元山發

釜山濟州島行　昌平丸　三月四日　釜山發

木浦麗水線　慶興丸　三月　六日　木浦發

多島海行　慶興丸　三月　日　木浦發

木浦行　全州丸　三月　日　仁川發

鎭南浦行　江原丸　三月　日　仁川發

大連行　三月　日　仁川發

本社　京城南大門通(電話長一九五二一)

釜山、元山、仁川、木浦、群山代理店

其他各港碇地ニ荷客取扱店

○印棉手當不足　▲比類なき少額を示す三万斤下半期四千三百八十手當行はれ居るに止まり未だ十分ならずと云ふ能はず之に反し支那棉…　▲手當薄を補充し得る　▲印棉輸出能力…